



島根県立 安来高等学校

所在地：〒692-0031 安来市佐久保町115	
電話番号：(0854) 22-2840	
FAX 番号：(0854) 22-3612	
Eメール：yasugikoko@pref.shimane.lg.jp	
HPアドレス：https://www.yasugi-hs.ed.jp/	



設置学科 学級数 各40人定員

◆普通科 4学級

全校生徒数 395名 (R5.5.1現在)

育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

教育目標「きびしく 高く 美しく」のもと
きびしく自らを律し 目標と信念を高く持ち
美しく豊かに生きる 時代の青年の育成を目指す

1. きびしく～態度～自分と向き合う力

よりよい(地域)社会の創り手として、自分自身を律し
責任ある行動がとれる生徒

2. 高く～スキル～課題と向き合う力

新たな価値の創造のために高い理想を持ちその実現に向
けて行動し学び(探究)し続けることのできる生徒

3. 美しく～価値～他者と向き合う力

地域への愛着を基盤に多様な価値観を認め合う共生社会
を生き抜くことができる生徒

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

このような生徒の皆さんを待っています!

将来は

- ✓ 地域を元気にしたい!
- ✓ 地域のために役立ちたい!

高校では

- ✓ 授業や部活動、地域活動にしっかり取り組みたい!
- ✓ 仲間と協力して目標に挑戦し、達成感を得たい!

学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

全ての教育活動を通じて以下の実践を図る

- ◆確かな基礎学力を培い、主体的な学習者を育てる授業・行事の実践
- ◆生涯を見通したキャリアデザイン力を育み、レジリエンスを醸成する活動の実践
- ◆地域や社会での活動等を通して、他者尊重・自己肯定感・有用感の醸成を図る活動の実践

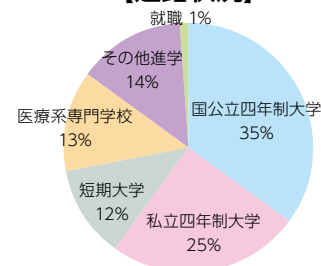
学校の特徴

【学習活動】

学習効果を上げるため、各学年とも習熟度別の学習を取り入れて
います。また、多様な進路希望に対応するため、多くの選択科
目を開講し、少人数指導や添削指導にも力を入れています。

総合的な探究の時間では、
地元安来市をフィールドに探
究活動を行い、自己理解・他
者理解を深め、課題発見解
決能力や協働する力を高めま
す。

【進路状況】



【部活動】

卒業生の進路状況(令和5年3月卒)

令和5年度の部活動加入率は90%を超えています。運動部・
文化部ともに全国規模の大会に出場する部が多くあります。また、
文化部を中心に、定期演奏会やボランティアなど、地域に根ざし
た活動も活発に行っています。

●スポーツ推進重点校指定の実績(主に令和以降のもの)

フェンシング部	令和2年度全国選抜女子団体5位 令和4年度インターハイ女子団体3位 2022年U20日本代表選手輩出
男子バレーボール部	令和元年度・4年度インターハイベスト16
女子バレーボール部	インターハイ36回出場 春の高校バレー39回出場

●その他の全国大会出場部(令和以降のもの)

運動部	男子テニス部 男子ソフトテニス部、女子ソフトテニス部 男子ソフトボール部 社会体育(スキー)、社会体育(水泳)
文化部	新聞部、弦楽部

【主な学校行事】

学園祭(蒼輝祭、文化祭)、ロードレース大会、スキー研修





島根県立 情報科学高等学校

所在地：〒692-8500 安来市能義町310	
電話番号：(0854) 23-2700	
FAX番号：(0854) 22-2933	
Eメール：jyohokagakukoko@pref.shimane.lg.jp	
HPアドレス：http://johokoko.ed.jp/	



設置学科 学級数 各40人定員

- ◆情報システム科 1学級
 - ◆マルチメディア科 1学級
 - ◆情報処理科 1学級
- ※1年生はくくり募集のため、同じカリキュラムで学習し、2年次に3学科から選択します。

全校生徒数 273名 (R5.5.1現在)

育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

I 目指す生徒像

デジタルテクノロジーを活用し新たな価値を創造する
『デジタルイノベーション創出人材』
～地域との協働を通じた
デジタルイノベーション創出人材の育成～

II 情報科学高校生に身につけさせたい資質・能力

- ①今と未来を見つめ、主体的に取り組む能力 (主体性)
 - ・自己成長につながる目標設定力
 - ・「なぜ？」を深掘りする探究力
- ②他者と円滑な人間関係を構築する能力・協働する能力 (協働性)
 - ・社会で通用する自己表現力・発信力
 - ・他者の意見や価値観を受容する力
 - ・チームで協働し実践する力
- ③デジタルテクノロジーを活用し新たな価値を創造する能力 (創造性)
 - ・新たな価値を創造しようとする力
 - ・課題解決のためにITを活用する力

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

- ・中学校段階までの基礎学力を身につけた生徒
 - ・情報・ビジネスに関する学習に対して興味・関心がある生徒
 - ・地域から学び、地域に貢献しようとする意欲を持った生徒
- ※推薦入試では、学業推薦、活動 (部活動や生徒会活動など) 推薦のほかに、未来探究推薦 (プログラミングやパソコンに関する知識・技能の資格や各種コンクール等において成果を上げた者又は同等の能力を持つ者等、ITに関する知識や技能を習得し、自己実現したい者を求める。) を行っている。

学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

- ①普通教育ならびに情報・ビジネスに関する専門教育を実施する。
- ②学校設定教科「地域探究」を通じて、以下の学習を実施する。
 - ・地域の魅力や課題を学ぶ
 - ・学びと課題を結びつけ解決する学習を実施する
 - ・自分に取り組むべきと認識した課題解決型学習の実施
- ③教科・科目や分野を超えた教育の展開
 - ・持続的な授業改善
 - ・複数教科の連携による教科横断的な授業展開
 - ・全校体制での探究型学習の実施

学校の特徴

(1) 情報科学高校ならではの特徴

- ◆情報教育の先進校
中国地方トップクラスの充実した学習環境で、ITの知識・技術を存分に高められる学校
- ◆Rubyを全員が学べる
島根で生まれ世界に広がったプログラム言語の「Ruby」を1年生から学ぶ唯一の学校
- ◆開かれた学校
情報ITフェア (12月上旬)、情報科学高校で遊ぼう学ぼう講座 (6～10月・3月) など地域の方をお招きし、学び・体験の場を提供している

(2) 地域との協働による教育改革を推進している専門高校

令和2年度から3年間、文部科学省の教育改革推進に関わる指定校となり研究してきた実績を有し、現在も独自の教育を追求している。



Soft Bank Robotics

島根県立 松江北高等学校

所在地：〒690-0872 松江市奥谷町164	
電話番号：(0852) 21-4888	
FAX 番号：(0852) 21-4977	
Eメール：info@matsuekita.ed.jp	
HPアドレス：https://www.matsuekita.ed.jp/	



設置学科 学級数 各40人定員

- ◆普通科 6学級
- ◆理数科 1学級

全校生徒数 760名 (R5.5.1現在)

スクールポリシー 「世界の人たれ」

育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

- 1) 道徳性、社会性を備え、豊かな人間関係を築く事ができる生徒 (人間関係構築力)
- 2) 知的好奇心のもとに、自ら考え、学び続けることができる生徒 (知的探究力)
- 3) 学習をはじめとして様々な活動に取り組み、将来の可能性を広げることができる生徒 (自己開拓力)
- 4) 社会で活躍することができる生徒 (社会貢献力)

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

- 1) 多様な価値観を認め、豊かな人間関係をつくる生徒
- 2) 高い目標に向かって、自ら学ぶ意欲を持つ生徒
- 3) 学習だけでなく、いろいろな活動に積極的に取り組む生徒
- 4) 社会で活躍することを目指す生徒

学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

【普通科・理数科の2学科体制】 【読む力・書く力・伝える力の育成】

- 1) 各教科の授業での「主体的・対話的で深い学び」の実践
 - ・普通科：多様な分野への進学に対応
 - ・理数科：理数系科目を強化
- 2) 生徒一人一人が「どう生きたいか」を考える探究学習の推進
 - ・普通科：「総合的な探究の時間」
《一人一人の興味・関心に基づく探究》
近畿研修旅行、キャリア講演会、社会人講話など
 - ・理数科：「理数探究」
《理数系分野に特化した探究》
関東地区研修旅行、キャリア講演会、社会人講話など
- 3) 教室の中だけでは体験できない学びの奨励
 - ・学校行事、生徒会活動、部活動
 - ・科学オリンピック、資格試験へのチャレンジ
 - ・希望者制研修旅行 (隠岐島前)
 - ・特色ある語学プログラム

学校の特徴

課題研究Ⅰ・Ⅱ (普通科1・2年)・課題研究Ⅲ (3年生)

身近な課題を知り、それを高校生の視点から自分たちでできることを考え探究します。既習の学習内容を活用して取り組み、ポスターセッション等によって発表します。1年次には、基礎となる知識やスキルを身につけ、課題を設定し、2年次には、研究・活動に取り組みます。3年次には、時事的な問題からテーマを設定しクラス単位でページェント (野外創作劇) として発表します。

理数探究 (理数科1・2年)

理数系分野で課題を設定し、実験等により研究した成果を発表します。代表は県大会や中国四国九州大会に出場します。1年次にはミニ探究により基礎力をつけ、2年次に課題研究に取り組みます。

各種研修旅行

- 1年生 普通科・理数科 隠岐島前研修 (希望者)
- 2年生 普通科 近畿研修
- 2年生 理数科 関東地区研修

【部活動】

体育系17部、文化系20部と多数の部活動があります。加入率約89%で、多くの生徒が学習と部活動との両立をめざし、意欲的に取り組んでいます。令和5年度夏の全国大会に出場した部活動は、以下の通りです。

- ◆登山 ◆ボート ◆囲碁・将棋
- ◆百人一首かるた ◆放送



合唱部 第75回全日本合唱コンクール全国大会出場 (青森県)



島根県立 松江南高等学校



※HP更新中。ぜひご覧ください。

所在地：〒690-8519 松江市八雲台1-1-1
電話番号：(0852) 21-6329
FAX番号：(0852) 21-1975
HPアドレス：https://www.matsue-minami.ed.jp/ 

設置学科 学級数 各40人定員

- ◆普通科 5学級
- ◆探究科学科 2学級

※探究科学科は、1年次は共通のカリキュラムで学習し、2年次に理数科学又は人文社会科学のコースを選択します。

全校生徒数 789名 (R5.5.1現在)

育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

- ◆心身ともに自立し、知識・技能を習得・活用してより深い学びを主体的に実践する生徒
- ◆課題の解決や新たな価値の創造に、他者と切磋琢磨し協働して取り組む生徒
- ◆学びを通じて自らのフィールドを見出し、気概をもって挑戦する生徒

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

【学校内外の様々な活動に挑戦しようとする生徒】

- ①自他を大切にし、様々な人と協力できる生徒
- ②自分で考え行動する生徒
- ③知的好奇心と学び続ける意欲を持つ生徒

学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

自立した学び・個別最適化した学び・ 多様な他者と協働する学び

～二つの学びの循環で一人ひとりのワクワクと WILL (意志・未来) を拓く～

- ◇知る学び…教科の基礎的な知識・技能の確実な習得と、それらを自在に応用できる総合的かつ高い学力を育む
- ◇創る学び…SSH事業を活用した探究型学習と多様な教育プログラムにより、「新たな価値を創造する力」「学びを発展的に活用する力」を育む

育てたい力

- *読解力…情報を正しく読み取り、解釈し、理解する力
- *思考力…グローバルで幅広い視野と文理融合で柔軟に考える力
- *主体性…自らの意志で目標を決めて取り組む力

重点的な取組

- *SSHを柱とした、全校体制での教育魅力化・特色化
- *授業改善
～探究的な学びの推進、ICT・学校図書館活用
- *部活動・生徒会・地域活動等をととした人間力・社会力の育成
- *安心・安全な学びの環境づくり

学校の特徴

【学習活動】

「自立した学び」の目標のもと、落ち着いた雰囲気の中で授業が展開されています。進路実現のために、個に応じたきめ細かい指導が行われており、進路講演会、大学出張講座など、多彩な機会が用意されています。

本校は、スーパーサイエンスハイスクール (SSH) に指定されています。最先端の科学技術に触れることができる多様な学びやデータサイエンスの手法を用いた探究活動が特色です。地域に出かけてのフィールドワークや大学の先生方との研究、朱雀サイエンスセミナーなどとおして、楽しみながら「創る学び」を身につけることができます。

【部活動】

全校生徒の92%以上が部活動に加入し、勉学との両立をモットーにがんばっています。令和5年度県高校総体では、2年連続男女総合優勝、女子総合優勝、男子総合優勝と3冠を達成し、素晴らしい成績を挙げました。

(参考) 過去3年間の全国大会出場実績

- 全国高校総合体育大会、全国高校選手権・選抜大会
空手道部、ソフトテニス部、テニス部、ハンドボール部、卓球部、水泳部
- 全国高校総合文化祭
箏曲部、文芸部、新聞部、書道部、囲碁・将棋部、写真部、JRC部、科学部
- NHK全国高校放送コンテスト 放送部



生徒活動



島根県立 松江東高等学校



所在地：〒690-0823 松江市西川津町510
電話番号：(0852) 27-3700
FAX 番号：(0852) 27-3703
Eメール：matsuehigashikoko@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：https://www.matsuehigashi.ed.jp/



設置学科 学級数 各40人定員

◆普通科 5学級

全校生徒数 562名 (R5.5.1現在)

育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

- ◆自分らしいライフデザインの実現をめざす生徒
- ◆持続可能な社会を創造する「地域共創人」

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

自分の持つ可能性を拓げるために、様々な活動に挑戦する志を持つ生徒

学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

- ◆人とつながって生きる力を育てる学び
～さまざまな人と協働する基礎力を育てる～
多様な人とつながる力を育てる教育活動
- ◆自己の未来を切り拓いていく力を育てる学び
～学びへの挑戦を支える～
生徒一人ひとりの学びへの好奇心とチャレンジ精神を引き出す授業づくり
- ◆地域社会の「今」と「未来」に関わる力を育てる学び
～「未来」につながる「出会い」を創る～
生徒の人生の「ロールモデル」としての魅力ある「大人」との出会いの創出

学校の特徴

生徒の皆さんが自身の可能性を拓げるために学習・部活動・課題探究などさまざまなことに挑戦することを一所懸命応援する学校です。

- ・文武両道を実践しながらも、自由な雰囲気のある学校です。
- ・「師弟同行」をモットーとし、生徒、教員が一緒になって「心の通った切磋琢磨」を行っています。
- ・松江市や地域で企業を運営されている方、島根大学の先生方と、通常の授業では体験できないような深い学びを追究する学校です。

松江東高等学校グランドデザイン

= 教育方針 =
高い知性と、すぐれた人格を備え、心身ともに健全で、人間性豊かな人材の育成を目指す

= 目指す学校像 =
生徒の持つ可能性の拡充に、師弟同行で挑戦する学校
地域連携で深い学びを追究する普通高校

= 育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー) =
自分らしいライフデザインの実現を目指す生徒
持続可能な社会を創造する「地域共創人」

= 「東高生が身につける力」を育てる学び (カリキュラム・ポリシー) =

～自立への道程～

人とつながって生きる力を育てる学び	自己の未来を切り拓いていく力を育てる学び	地域社会の「今」と「未来」に関わる力を育てる学び
<p>～さまざまな人と協働する基礎力を育てる～ 多様な人とつながる力を育てる教育活動 ＜自他の大切さを認めあう＞ ○すべての教育活動を通じて、生徒の人権感覚を高め、自他の大切さが認められている環境づくりを進める ＜互いに支え合い、高め合う＞ ○日々の授業や部活動、生徒会活動や校外活動等を通じて、互いに認め合い、高め合う集団づくりの取組を進める</p>	<p>～学びへの挑戦を支える～ 生徒一人ひとりの学びへの好奇心とチャレンジ精神を引き出す授業づくり ＜楽しみながら学ぶ＞ ○基礎的・基本的な知識の確実な習得を促す ○島根大学と連携した授業プログラムなど、生徒自身が意欲を高め、主体的に学びに挑戦する授業を展開する。 ＜深く学ぶ＞ ○教科における、生徒の「なぜ」「どうして」を大切にしたい学びを通して、深く考える力を伸ばす。</p>	<p>～「未来」につながる「出会い」を創る～ 生徒の人生の「ロールモデル」としての魅力ある「大人」との出会いの創出 ＜自分の今と将来を考える＞ ○様々な大人との出会いを通して、自分の生き方やあり方考える場をつくる。 ＜地域の今と将来を考える＞ ○島根大学、地域の企業・団体と連携した魅力ある地域探究プログラムで、よりよい地域の創造をめざす「ハート」を育み、「実践力」をのばす</p>
多文化協働力	主体的学習者としての力	探究的学習力
	地域共創力	社会的自立力

= 求める生徒像 (アドミッション・ポリシー) =
自分の持つ可能性を拓げるために、様々な活動に挑戦する志を持つ生徒

～協働して学びを展開するコンソーシアム～

島根大学・松江市・中小企業家同友会・松江商工会議所・PTA・東雲会・川津公民館・高の嶺会

【部活動】

- ◆(体育系 14 部) インターハイの常連であるボート、アーチェリー、県内屈指の強豪である男女バスケットボールを始め、多くの部が中国・全国大会で活躍
- ◆(文化系 10 部) 書道パフォーマンス甲子園や全国総文祭に出場する書道部や文化創造部 (放送、演劇、文芸、写真部門) が毎年のように全国大会に出場
- ◆その他の部も充実した活動を行っています。

【入学者選抜】

一般選抜、推薦選抜 (体育系部活動)、スポーツ特別推薦 (男子バスケットボール、女子ボート) を実施します。





島根県立 松江工業高等学校 全日制課程

所在地：〒690-8528 松江市古志原4丁目1番10号

電話番号：(0852)67-2121

FAX番号：(0852)67-2122

Eメール：matsuko-hs@edu.pref.shimane.jp

HPアドレス：https://www.matsue-th.ed.jp



設置学科 学級数 各40人定員

- ◆機械科 1学級 ◆電子機械科 1学級
- ◆電気電子工学科 1学級 ◆情報クリエイター学科 1学級
- ◆建築都市工学科 1学級

全校生徒数 541名 (R5.5.1現在)

育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

一 地域産業を担う工業のスペシャリスト 一

- ◆豊かな人間性を有する生徒
- ◆他者と協働し問題解決にあたることのできる生徒

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

- ◆ものづくり等の工業分野に興味・関心を持ち、何事にも努力を惜しまず確実にやり遂げることができる人
- ◆高校生活に明確な目標を持ち、学習をはじめ資格取得等にも意欲的に取り組むことができる人

学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

- 工業技術者として必要な基礎学力や高度な専門知識と技術が身につくよう、共通科目と専門科目をバランスよく編成・実施します。
- 実習と座学の連携、専門科目と共通科目の横断的な学びで学習内容を深化させます。
- 課題研究や地域交流活動等での探究学習を通して、自らの課題に主体的・協働的に取り組み、よりよい社会を実現しようとする態度を養います。
- ホームルーム活動や学校行事、部活動等を通して、自律的な態度と、相手を思いやる心を育てます。

学校の特徴

希望の就職先

就職求人状況 (昨年度の実績)

◆県内 292社 592人 ◆県外 729社 1,397人

希望の進学先

本校を指定校とする学校

◆四年制大学 57校 ◆短期大学 17校
◆専門学校等 75校

夢実現への道

職業資格取得に有利なカリキュラム

- ◆各種技能士 ◆二級ボイラー技士 ◆電気工事士
- ◆工事担任者 ◆ITパスポート ◆基本情報技術者
- ◆2級施工管理技術検定 ◆乙種危険物取扱者など

ものづくりへの道

体験型学習「実習・課題研究」

- ◆最新の実習設備による実習
- ◆少人数指導での体験学習
- ◆地元企業でのインターンシップ
- ◆ものづくりコンテストへの参加

文武両道への道

◆運動系14部 ◆文化系10部

◆部活動加入率 74.5%

どの部活動も充実した環境・設備で日々活動しています。

地域に根ざした「交流活動」

吹奏楽演奏会、幼稚園等との交流、老人ホーム清掃活動、ものづくり教室等地域との交流活動、地域施設に貸し出す車イスのメンテナンス

教育方針

すぐれた知性【知】

高い品性【徳】

健全な心身【体】

◆地域産業を担うスペシャリストの育成
◆キャリア教育の推進

入学者選抜

一般選抜は、全日制課程6学科と定時制課程3学科の中から第4志望まで志願することができます。このほかに、推薦による選抜(スポーツ特別推薦、一般推薦)を実施しています。



プラバホール
クリスマスイルミネーション



島根県立 松江工業高等学校 定時制課程

所在地：〒690-8528 松江市古志原4丁目1番10号

電話番号：(0852)67-2118

FAX番号：(0852)67-2128

Eメール：matsuko-ht@edu.pref.shimane.jp

HPアドレス：https://sites.google.com/ict.shimane.ed.jp/matsue-ht/



設置学科 学級数

各40人定員

- ◆機械科 1学級
- ◆電気科 1学級
- ◆建築科 1学級



全校生徒数 33名 (R5.5.1現在)



育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

社会とのつながり(就労)と、ものづくりの学びを通じて、自らライフプラン(人生設計)を描き、自己実現できる生徒



求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

- ◆工業の内容に関心を持ち、ものづくりや資格取得に興味のある生徒
- ◆欠席や遅刻をしないという強い意志を持ち、体験的な学習や部活動を通して自分自身を高め、自らの生き方・在り方を考えようとする生徒
- ◆働きながら学ぶことに誇りをもてる、意欲のある生徒
- ◆学校のルールやマナーを守り、周囲の人々とよい人間関係を保ち、他人に対する思いやりのある生徒



学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

本校は「学びながら働きたい」と考えている人に最適な夜間定時制の工業高校です。学校は夕方5時過ぎから始まり、1日4時間の授業を受け4年間で卒業できます。

機械・電気・建築の3つの学科があり、どの科も基礎的な知識・技能を習得することができます。

「わかりやすい授業」をモットーに、教職員が丁寧に寄り添いながら学習指導・支援を行います。共通教科では、学び直しの機会を設け、少人数のクラスで丁寧に指導します。工業の専門教科では、できるだけ複数の教員できめ細やかな指導を行います。教えあい学び合う授業や様々な体験学習、実習・課題研究等では、課題に主体的に取り組み、他の生徒や地域の方と協力して取り組み課題を解決していきます。個々の作業スピードに合わせて、ものづくりをゆっくりじっくり楽しく学ぶことができます。



学校の特徴

【入学について】

入学する方法は次の3つがあります。

(1) 一般入学者選抜

いわゆる高校入試を受けて入学する方法で、県下一斉に行われる学力検査を受けることになります。

(国、数、社、英、理、面接試験)

(2) 一般入学者選抜二次募集

一次募集の合格発表後に、定員に欠員が生じた時に実施されます。(一般選抜学力検査結果の利用、面接試験)

(3) 特別編入

既に高校の卒業資格を有する者、または令和6年3月高校卒業見込みの者が出願できます。専門教科のみを履修し、第3学年に編入されます。

編入試験：(面接試験)

【その他】

(1) 教科書について

教科書代金について補助制度があります。そのためには年間90日以上就業(アルバイトを含む)証明が必要ですが、毎年多くの生徒が利用しています。

(2) 給食について

日替り弁当(米飯)やパン・牛乳やおにぎりによる補助給食があり、希望者が始業前の時間帯で利用しています。この給食にも経費補助の制度があります。



実習風景

島根県立 松江商業高等学校

所在地：〒690-8525 松江市浜乃木8丁目1番1号

電話番号：(0852) 21-3261

FAX 番号：(0852) 21-7046

Eメール：matsuesyogyokoko@pref.shimane.lg.jp

HPアドレス：https://www.matsusho.ed.jp/



設置学科 学級数

各40人定員

- ◆商業科 3学級
- ◆情報処理科 1学級
- ◆国際ビジネス科 1学級

※1年生はくくり募集のため、「全科」として5学級が同じカリキュラムで学習します。

全校生徒数 559名 (R5.5.1現在)

育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

将来、産業経済界をはじめとする地域社会で活躍する人材の育成

1. 高潔な品位の育成
2. 優れた能力の育成
3. 目的意識の育成

商業科：地域経済を活性化し、継続的に地域に貢献できる人材

情報処理科：ITの高度な専門性を備えた人材

国際ビジネス科：グローバルな視野を持ったビジネスリーダー

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

- (1) 基本的な生活習慣が身についている生徒
- (2) 学習・資格取得・部活動等に目標を持って積極的に取り組むことができる生徒

学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

- (1) 「くくり募集」を実施し、1年次は全員が商業の基礎的な科目を含む共通の科目を学習し、2年次より3つの学科に分かれ学習を深めていきます。学科の特徴は以下のとおりです。
 - ① 商業科：広く商業科目を学び、地域経済を担う専門的な知識・技術を身につけ、興味関心に合わせ、幅広い進路選択に対応します。
 - ② 情報処理科：高度な情報処理技術を学び、ITの急速な進化を遂げたビジネス社会で活躍するために必要な実践力を身につけます。
 - ③ 国際ビジネス科：簿記会計・英語の高度な知識・能力を身につけ、グローバル化が急速に進むビジネスの世界で活躍するために必要な実践的な力を身につけます。
- (2) 地域を理解し、地域・企業・大学等との協働によって、専門知識・技能を活用した実践力を身に付けるために、地域に開かれた教育課程や教育活動を実施します。
 - ・ 課題研究 ・ 松商だんだんフェスタ ・ 未来創造プロジェクト

- (3) 学習意欲の向上と学習活動の理論的・体系的な理解を深めるために、資格取得を奨励し、目標達成に粘り強く挑戦する機会を設けます
 - ・ 全商検定試験 1級合格 3種目以上
 - ・ 外部検定資格取得 (日商簿記1級・実用英語検定2級以上、基本情報技術者等)
- (4) 豊かな人間性、社会人としての倫理に基づく行動を身につけるため、あいさつをはじめとするコミュニケーションを重視した活動を学校内外に位置付けます。
 - ・ ビジスマナー ・ 部活動
- (5) 様々な活動を通して、将来の職業と進路目標を定め、多様な進路選択に対応します。
 - ・ 企業見学 ・ 修学旅行 (国際ビジネス科)

学校の特徴

本校は、「誠実・質素・勤勉」を校訓として、「豊かな人間性を持ち、高い志を掲げ、主体的に学び、自立する生徒を育成する」ことを教育目標としています。

令和4年度の進路実績は、進学 72%、就職 28%となっています。進学の内訳は国公立大 17名・私立大学 41名・短期大学 10名・専門学校 70名です。就職は県内企業 49名、公務員 (県内) 4名となっており、就職者全員が県内に就職しています。

部活動も大変盛んで、古くから「スポーツの松商」とも呼ばれてきました。全校の90%以上の生徒が部活動に加入しており、放課後の体育館やグラウンドは熱気にあふれ、各部活動が中国大会・全国大会への出場を目標に、お互い切磋琢磨しながら3年間存分に活動に取り組んでいます。そして運動系部活動は、島根県高校総体通算で男女総合優勝7回、女子総合優勝29回の結果を残しています。

また、文化系部活動では吹奏楽部・商業系部活動が、マーチングコンテスト、ビジネス計算競技大会、簿記競技大会、商業研究発表大会などで、中国大会・全国大会出場への結果を残しています。





島根県立 松江農林高等学校

所在地：〒690-8507 松江市乃木福富町51
電話番号：(0852) 21-6772
FAX番号：(0852) 21-6796
Eメール：matsuenorinkoko@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：https://www.matsuno.ed.jp/



設置学科 学級数 各40人定員

- ◆生物生産科 1学級 40名
- ◆環境土木科 1学級 40名
- ◆総合学科 2学級 80名

学校の特徴

- 主な学校行事
- ◆体育祭（9月）
- ◆収穫祭（11月）
- ◆松江農林高校発表会（2月島根県民会館で実施）

全校生徒数 460名 (R5.5.1現在)

育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

- ①他者への思いやりをさりげなくできる生徒
- ②社会で通用するマナーを身につけた生徒
- ③自分を生かした社会貢献ができる生徒
- ④学ぶ意思を持った進路実現にチャレンジする生徒

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

- ①学ぶ意欲を持った生徒
- ②社会に目を向けることができる生徒
- ③人との関わりを大切にできる生徒

学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

- ・明治33年(1900年)創立で、今年で創立123年を迎えました。
- ・2年次からすべての学科でコース・系列に分かれて学習します。
 - 生物生産科(4コース)
 - 作物、草花、野菜、植物バイオ
 - 環境土木科(2コース)
 - 土木、造園
 - 総合学科(3系列)
 - 食品、福祉、地域
- ・実験と実習を通して学んだ知識の定着を図り、積極的に課題研究に取り組んでいます。
- ・島根大学、島根県立大学などとの「高大連携学習」を推進して、課題解決型学習の充実、双方向の学習を実施しています。
- ・「地域と連携した学習」を行い、体験的な活動の充実を図っています。



収穫祭

●進路状況

約7割が大学等へ進学し、3割が就職します。就職では土木・建設業、製造業、サービス業を中心に9割以上が地元企業で就業しています。進学では、島根大学、島根県立大学をはじめ農業系やその関連学科、看護・医療系、保育系、食物・栄養系の大学・短期大学・専門学校に多くの生徒が進学しています。また、公務員を目指す生徒も増えており、R4年度は9人が合格しました。

●ボランティア活動

総合学科福祉系列の選択者や農業クラブ・家庭クラブ・生徒会・JRC部などが、市内の老人ホームや障がい者施設、保育園等を積極的に訪問し、豊かな社会体験ができます。



島根県立 宍道高等学校 定時制課程

所在地：〒699-0492 松江市宍道町宍道1586

電話番号：(0852)66-7577

FAX番号：(0852)66-7117

Eメール：shinjikoko@pref.shimane.lg.jp

HPアドレス：https://www.shinji-h.ed.jp/



設置学科 入学定員

◆普通科

〈午前部〉80名 〈午後部〉40名 〈夜間部〉40名

全校生徒数 279名 (R5.5.1現在)

育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

- ◆主体的に学ぶ意欲をもち、自分らしさを生かすことができる生徒
- ◆社会とのつながりのなかで、自ら考え行動し、協働できる生徒
- ◆自然や文化を愛し、自分と多様な他者とともに大切にできる生徒

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

- (1)定時制課程の特色を理解し、学習に積極的に取り組もうとする意欲と学力を有する生徒
- (2)学校行事、部活動等の特別活動、地域社会での諸活動など多様な活動に意欲的に取り組もうとする生徒
- (3)日々の学習や経験から得たことを生かし、自分の将来について真摯に考えようとする生徒
- (4)学校や地域社会の一員として必要な規範意識、基本的な生活習慣や態度を身につけようとする生徒

学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

多様な学習履歴、学習動機をもつ生徒のニーズに対応

【教育目標】 生徒一人ひとりが『自分らしい生き方をデザイン』する力の育成

【校訓】 発見・敬愛・自律



まなびのキセキ☆発表会

学校の特徴

【学習時間帯】 本校定時制には午前部・午後部・夜間部の3つの学習時間帯(3部制)があり、いずれかの部に所属して学習します。(授業は90分です。)

学習時間帯	学習時間
午前部	9:10~12:30
午後部	13:15~16:35
夜間部	17:35~20:50

【単位制】

学年による区別がなく、必履修科目以外は、自分の進路希望等を考えて担任と相談しながら学習計画を立てることができます。

【多様な開講科目】

基礎から応用に至る科目や、本校独自の学校設定科目(カウンセリング心理学・ガーデンライフ・ものづくり・日本語理解など)等、多様な科目を開講します。

【少人数指導】

普通教室は20人程度が入れる広さで、少人数授業による授業を行います。

【通級による指導】

2年次生以上を対象に実施しています。

【2学期制】

前期と後期の2学期制です。学期ごとに中間試験と期末試験があります。

【学校行事】

校内スポーツ大会、遠足、生活体験発表大会、学園祭、まなびのキセキ☆発表会などの行事があります。

【柔軟な単位認定】

高等学校卒業程度認定試験合格科目や各種資格検定の取得など、学校外における学習成果を単位認定し、卒業に必要な単位数として加算します。

【修業年限3年以上】

自分が所属する「部」のみ学習することで、4年で卒業できます。さらに、自分が所属する「部」以外の科目も受けること(=他部履修)により、3年で卒業することも可能です。

【卒業条件】

3年以上在籍し、特別活動に参加し、必履修科目を含め74単位以上修得すると卒業できます。



島根県立 宍道高等学校 通信制課程

所在地：〒699-0492 松江市宍道町宍道1586
電話番号：(0852)66-7577
FAX番号：(0852)66-7117
Eメール：shinjikoko@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：https://www.shinji-h.ed.jp/



設置学科 入学定員

◆普通科 300名

全校生徒数 1,347名 (R5.5.1現在)

育てたい生徒像(グラデュエーション・ポリシー)

- ◆主体的に学ぶ意欲をもち、自分らしさを生かすことができる生徒
- ◆社会とのつながりのなかで、自ら考え行動し、協働できる生徒
- ◆自然や文化を愛し、自分と多様な他者とともに大切にできる生徒

求める生徒像(アドミッション・ポリシー)

- (1)通信制課程の特色を理解し、学習に積極的に取り組もうとする意欲と学力を有する生徒
- (2)学校行事、部活動等の特別活動、地域社会での諸活動など多様な活動に意欲的に取り組もうとする生徒
- (3)日々の学習や経験から得たことを生かし、自分の将来について真摯に考えようとする生徒
- (4)学校や地域社会の一員として必要な規範意識、基本的な生活習慣や態度を身につけようとする生徒

学びの特色(カリキュラム・ポリシー)

「発見・敬愛・自律」の校訓のもと、多様な学習履歴、学習動機をもつ生徒のニーズに対応したきめ細かな教育活動を通して、生徒一人ひとりが、自分らしい生き方を発見し、さまざまな人と関係を築く力をつけ、社会的自立を果たしていくことを目指します。

【教育目標】 生徒一人ひとりが『自分らしい生き方をデザイン』する力の育成

【特色ある取り組み】

- (1)多様な学習ニーズに応える・・・単位制
- (2)安全で安心できる環境をつくる・・・全校体制での生徒の見守り(教職員、教育相談員、SC、SSW等)
- (3)自己理解、自己決定の場をつくる・・・キャリア教育の推進
- (4)多様な人と協働する場を支援する・・・地域との連携・協働

通信制課程での学習で大切な3つのポイント

- ◆スクーリングに出席する。
- ◆計画的に学習を進め、レポートを作成し、提出する。
- ◆試験を受ける。

【通信制課程とは】

毎日登校して学習する全日制課程や定時制課程とは異なり、自宅での自学自習を主とする課程です。

【単位制】

必修科目以外は、自分の進路希望等を考えて科目を選択し、自分の学習ペースに即した学習計画を立てることができます。さらに、半期単位認定制により、前期と後期の半期ごとに少しずつ単位を修得することができ、スモールステップで卒業を目指すことが可能になります。

【面接指導(スクーリング)】

講義形式や自習形式の授業があり、年間指導計画で示されます。自分で計画をたてて受講します。科目の学習の他に特別活動として学校行事や生徒会活動等も行われます。

【添削指導(レポート)】

教科書等による自学自習の成果をレポート作成して提出期限までに学校に提出します。レポートは添削後返却されます。

【試験】

年に2回行います。規定回数のレポートの合格とスクーリングへの出席が試験を受ける条件です。

【修業年限3年以上】 3年で卒業することが可能です。

【卒業条件】

3年以上在籍(前籍校を含む)し、特別活動に30単位時間以上出席し、必修科目を含め74単位以上修得すると卒業できます。

【時間の有効活用】

全日制課程と比べ自分の時間が多くとれます。その時間を仕事や進学のための勉強、趣味を楽しんだり、特技を高めたりすることに活用できます。



宍道町内フィールドワーク



島根県立 大東高等学校

所在地：〒699-1251 雲南市大東町大東637

電話番号：(0854) 43-2511

FAX 番号：(0854) 43-2512

Eメール：daitokoko@pref.shimane.lg.jp

HPアドレス：https://www.daito-h.ed.jp/



設置学科 学級数

各30人定員

◆普通科 3学級



全校生徒数 229名 (R5.5.1現在)



求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

◆「知・徳・体 調和のとれた人」をめざし、
チャレンジする人



学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)



育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

育成したい生徒像



人と、
つながることができる

人間力



学んだことを、
つなげることができる

学力



自分と地域の未来を、
つむぐことができる

社会力

基礎学力の定着と3年次コース制で多様な進路希望に対応

【習熟度別クラス編成】普通進度2クラス、早進度1クラス

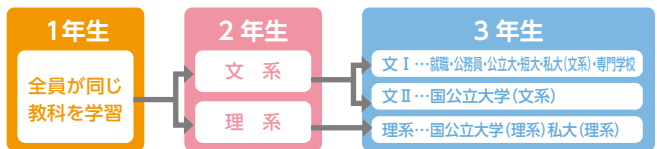
1・2年次

少人数指導を取り入れ、基礎学力の向上を目指します。

3年次

生徒一人一人の進路希望に応じたカリキュラム編成で進路実現を目指します。

【コース編成】



【知徳体をバランスよく鍛える】

令和5年度県高校総体(Bグループ)において男女総合準優勝を果たしました。特に、男子バレーボール部は24年ぶりの優勝、女子ソフトボール部は2大会振りの優勝を成し遂げ、インターハイへ出場しました。また、野球部、剣道部、空手道部、バドミントン部など中国大会に出場を果たしている部活動が多数あります。文化部では、写真部はじめ吹奏楽部など少人数ですが、地域と関わりながら意欲的に活動を行っています。



【地域とつながる】

地域パートナーとともに学ぶ「雲南式探究学習」、地域の課題解決に主体的に取り組む「雲南スペシャルチャレンジ」、そして「ボランティア活動」など地域を舞台にさまざまな活動が用意されています。いろいろな人との出会いを通して、自分の進みたい道が見えてきます。



大東高校マスコット「おりべちゃん」

リボンは大東のDをシンボル化、校歌や制服模様を織り込んでいるほか、「元気さ」「人と人のつながり」などがイメージ化されています。



島根県立 横田高等学校

所在地：〒699-1821 仁多郡奥出雲町稲原2178-1	
電話番号：(0854)52-1511	
FAX番号：(0854)52-1512	
Eメール：yokotakoko@pref.shimane.lg.jp	
HPアドレス：http://www.yokota.ed.jp/	



設置学科 学級数 各30人定員

◆普通科 3学級

全校生徒数 200名 (R5.5.1現在)

育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

「四方よしの心を持ち、未来を描ける人材」

「四方」とは「わたし、仲間、社会、未来」の4つです。

- ①自分に自信を持ち、可能性や未来を信じていることができるひと
- ②思いやりを持ち、互いを高め合うことができるひと
- ③郷土、日本、世界を知り、異なる文化を受け入れることができるひと
- ④自分事として、社会課題解決に向けて挑戦することができるひと

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

- ◆自主性を持つとともに、他者への思いやりを持つ生徒
- ◆自分の視野を広げ、たくましく社会で生きようとする生徒
- ◆学習や部活動などの様々な教育活動に主体的に励み、活力ある高校生活を送ろうとする生徒

学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

自ら未来を切り拓いていく力を持ち、地域に貢献できる人材の育成のため、多様な進路志望に応じたキャリア形成を目指す教育課程を編成する。

学校の特徴

横田高校は大正8年に創立され、令和元年に創立100周年を迎えた伝統を誇る高校です。地域からの期待は大きく、奥出雲町と連携した横田高校魅力化事業を実施し、未来に向けての持続可能な共生社会をつくるために、「人つなぎ・人づくり」の拠点となる学校づくりを行っています。

★1年次は共通、2年次からは、 進学コースか総合コースを選択

国公立大学、私立大学、医療系、各種専門学校や民間就職、公務員など、生徒の進路希望が幅広いのが、横田高校の特徴です。1年次は共通カリキュラムで学び、2年次からは進学コースと総合コースに分かれ、進路希望に応じたカリキュラムで学びます。小規模校だからできる一人一人に目が届きめ細やかな少人数指導を通して、確かな学力と豊かな感性を備えた人づくりを目指します。

【総合コース】

多くの選択科目を設け、さまざまな進路希望に対応しています。また資格取得や職場体験にも力を入れ、実社会で生きる力の育成を目指します。

【進学コース】

国公立大への進学を中心に、文系・理系志望別の少人数指導などそれぞれの進路実現のための徹底した受験指導を行います。

★コース別にきめ細やかな進路指導

- 【就職】 ◆面接練習・作文指導など徹底した個人指導
- ◆地元の企業を招いてガイダンス など
- 【進学】 ◆教員とのマンツーマンの個別添削指導
- ◆文系・理系志望別の少人数授業

★生徒が輝ける様々な活動

【奥出雲学】

「総合的な探究の時間」に地域課題探究と進路実現探究の2つ柱で進めている探究学習です。奥出雲町や自己の生き方など身近なところから課題を設定し、課題解決のために何ができるのかを考え、仮説を立てて検証していきます。地域との交流から学びを深め、情報の収集さらに整理・分析を行い、活動の成果を文章にまとめたりプレゼンテーションを行ったりします。その学びを通して自分の在り方・生き方を考え、学問や職業について知り、進路実現のために必要な力を養います。

【地域活動FUN!CLUBと地域活動クラブ】

地域活動 FUN!CLUB は令和元年度に地域活動系サークルとしてスタートしました。町内のイベントやスポーツ大会でのボランティアのほか、児童クラブで勉強を教えたり、産直市で高校生ショップを運営したりするなど、地域の方々の協力のもとで活動しています。また令和4年度からは全校生徒が所属する地域活動クラブを生徒会組織に新たに設け、横田高校生の地域活動は部活動単位だけでなく個人での活動もすべて地域活動クラブの活動と位置付けることにしました。地域活動を通して地域社会の仕組みを学び、実体験でしか得られない感動を味わってほしいと考えています。



【海外派遣・留学生受け入れの取組】

世界を舞台に活躍する人材の育成を目的に、海外留学生の受け入れに加え、海外に数名の生徒を派遣し交流しています。(令和元年～4年 新型コロナウイルス感染症のため中止)

所在地：〒690-2404 雲南市三刀屋町三刀屋912-2
電話番号：(0854) 45-2721
FAX 番号：(0854) 45-5630
Eメール：mitoya-hs@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：https://www.mitoya-hs.ed.jp/



設置学科 学級数 各40人定員

◆総合学科 4学級

全校生徒数 402名 (R5.5.1現在)

育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

- ◆勉学・勤労に主体的に取り組み、自らの可能性を広げていく生徒 [学力]
- ◆興味・関心と健全な批判精神をもち、社会とかかわっていく生徒 [社会力]
- ◆自他の人権を重んじ、誠実な言動で人間関係を築いていく生徒 [人間力]

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

- 「志をもって粘り強く努力し、自らを高めようとする生徒」
- ◆高等学校の学びに必要な基礎的学力を身に付けている生徒
 - ◆他者と協働しながら、主体的に活動することができる生徒
 - ◆自他をともに大切に、良好な人間関係を築いていく生徒

学校の特徴

平成16年度に普通科から総合学科に改編し、令和6年に創立100周年を迎える。平成24年度キャリア教育優良学校文部科学大臣表彰を受賞。キャリア教育の先進校として県内外から注目されている。上級学校への進学から就職まで多様な進路に対応して、少人数指導を実施し、多様な選択科目を設けている。

部活動や生徒会活動も盛んで、体育系14、文化系14の部同好会がある。ソフトボール部は全国大会の常連校。野球部・サッカー部も躍進中である。JRC部の校内、地域での活動も活発で、「高文連青少年赤十字研究発表最優秀賞」「全国ボランティアスピリット賞」「全国マイプロジェクトアワード優秀賞」を連続受賞。演劇部、文芸部も全国高総文祭等に出場するなど、体育系、文化系ともに活気がある。

寮「和敬寮」も完備しており、県内外の生徒が快適な環境で学習に取り組んでいる。

緑の桜が咲く町、平和を愛する町、若者のチャレンジを応援する町にある進学型(普通科型)総合学科の高校

校訓
誠実・剛健 礼儀・規律 勤労・勉勵

学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

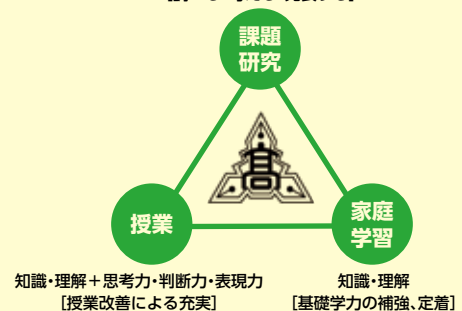
1. 系列別に選択できる授業を多くし、進路希望別に細かく対応できるようにしている。
2. 探究学習として「未来創造探究Ⅰ、Ⅱ」を設定し、地域の魅力や課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につけるとともに、主体的・協働的に課題解決を図ろうとする態度や意欲を養っている。
3. 授業改善や学習評価の充実に加え、ICTを積極的に授業の中で用いたり、図書館の利活用を図ったりすることにより、わかりやすい授業を行っている。

また、下図に示す三高トライアングル学習を行う上で、次の「三高生につけたい8つの力」を示し、各教科が「8つの力」のどの力を重点的に育成するかを定めて取り組んでいる。

- ①広い視野(多角的な視点)
- ②当事者意識(主体性)
- ③目標設定力(計画性)
- ④思考力(批判力)
- ⑤実践力・行動力
- ⑥自己主張・自己表現
- ⑦協働する力
- ⑧振り返る力(メタ認知)

三高トライアングル学習

課題発見力・課題解決力・プレゼンテーション力
【調べる・考える・発表する】



演劇部2023全国総文祭「優秀賞」・「文化庁長官賞」受賞(全国2位)



島根県立 三刀屋高等学校 掛合分校

所在地：〒690-2701 雲南市掛合町掛合3601
電話番号：(0854)62-0084
FAX番号：(0854)62-0080
Eメール：kakeya-bunko@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：https://www.kakeko.ed.jp



設置学科 学級数

40人定員

◆普通科 1学級



全校生徒数 72名 (R5.5.1現在)



育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

- 〈学力〉 勉学・勤労に主体的に取り組み、自らの可能性を広げていく生徒
- 〈社会力〉 自己管理能力を身につけ、興味・関心をもって社会とかわかっていく生徒
- 〈人間力〉 自他の人権を重んじ、誠実な言動で人間関係を築いていく生徒



求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

- 『何事にも志をもって意欲的かつ
誠実に取り組むことのできる生徒』
- 常に自分を磨き、学び続ける生徒
 - 他者とのコミュニケーションを大切にする生徒
 - 夢や目標に向かってチャレンジする生徒



学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

- 『地域と共にある県内唯一の分校としての
魅力開拓・再発見』
- 中学校までの学習内容を学び直しながら、徐々に高等学校での学習内容へと移行していきます。また、ICT機器を積極的に用いることにより、わかりやすい授業を行います。
 - 地域を学びの場とし、さまざまな体験学習を通して、幅広い世代の人たちとコミュニケーションをとる力や地域・社会への貢献意欲を養います。
 - 「総合的な探究の時間」、学校設定科目「探究基礎」「地域創造」を活用し、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につけるとともに、主体的・協働的に課題解決を図ろうとする態度を養います。



学校の特徴

校訓「志操堅固」

教育目標

- ◆ふるさとを愛し人を愛し、志をもって社会に貢献する人材の育成
- ◆自己の可能性に挑み、主体的に道を拓いていく人材の育成

【ICTを活用した授業】

デジタル教科書にも対応可能な人数分のタブレット端末を早くから導入し、わかりやすい授業を提供しています。これに1人1台パソコンも加わり、学びの環境は更に充実しています。

【通級による指導】

自校通級を行っています。
個々のニーズに応じ、学習上・生活上の困難を主体的に改善・克服することを目的に、週一回放課後に特別の指導を行っています。

【教科以外の活動】

- ①ボランティア活動
豊かな人格や感性の育成を目指し、一人ひとりの自主的なボランティア実践を推進しています。隣接する掛合小学校での絵本の読み語りを毎年続けています。
- ②多くの体験学習

1年次	地域理解学習	地域探究学習、 郷土芸能・伝統文化体験
2年次	地域貢献学習	地元産米 PR・販売支援、 職場体験
3年次	地域創造学習	卒業研究、雲南市魅力化策提案

③研修旅行

自分や地域のよさを知り、それらの可能性を広げるため研修旅行を実施しています。また、互いを認め合い、協働して課題を解決するための資質・能力及び態度を養うための育成も目指しています。

【寮について】

女子寮があります。(定員10名程度、土日祝日及びその前日は閉寮)





島根県立 飯南高等学校

所在地：〒690-3401 飯石郡飯南町野萱800

電話番号：(0854)76-2333

FAX番号：(0854)76-2344

Eメール：iinankoko@pref.shimane.lg.jp

HPアドレス：https://iinan.ed.jp/



設置学科 学級数

各40人定員

◆普通科 2学級

全校生徒数 191名 (R5.5.1現在)

目指す生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

1. 自ら考え、正しく判断し、連携・協働できる生徒
自律
2. 自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めること
のできる生徒 友愛
3. 着実な努力を基盤としつつ、何事にも積極的に取り組
む生徒 進取
4. 地域のすばらしさを理解し、未来を創造できる生徒
創造

求める生徒像(アドミッション・ポリシー)

1. 学習や諸活動に真剣に取り組んでいる生徒
2. 自らの将来や地域のことを考えている生徒
3. 安心できる学校生活づくりに協力できる生徒

学びの特色(カリキュラム・ポリシー)

自らの人生を 主体的に切り拓いていく力の育成

飯南町をフィールドとした生命地域教育を中心に、教育活動全体をとおして体系的・系統的に育成します。

【特色】

- ◆中高一貫教育(連携型)導入(平成13年度から)
頓原中学校・赤来中学校との連携
- ◆きめ細かい学習指導と進路指導
- ◆「生命地域教育」(主なもの)
飯南町バスツアー(1年生)
飯南ジョブフェア(1、2年生)
中山間地域体験学習(1年生)
研修旅行(2年生)
企業見学(2年生)
課題研究(2、3年生)
プロジェクト学習(3年生)

学校の特徴

校訓 自律・友愛・進取・創造

①教育課程の工夫

- ◆習熟度別少人数授業(国語・数学・英語)
- ◆コース選択
2年生からI型(就職等志望)、II型(進学志望)を選択
- ◆ビジネス教育の充実 2、3年生(I型)
- ◆学校設定科目「生命地域学」2、3年生

②中高一貫教育の実施

数学、英語を中心としたTT授業を通して中高の教科指導の連携を行い、学力の向上を図ります。
学校行事や生徒会行事、ボランティア活動、部活動等の交流もしています。

③地域をフィールドとしたキャリア教育の充実

「生命地域学」や「総合的な探究の時間」で地域・社会づくりに貢献できる力を養います。

④部活動(特徴的なもの)

スキー部、ハンドボール部、報道部 など

⑤進路状況

【進学】国公立大学、私立大学、短期大学、専門学校
【就職】県内外の民間企業、公務員

⑥制服

令和5年度入学生から、多様性を認め合えるような制服になりました。スラックス・スカートだけでなく、ネクタイ・リボンも自由に選ぶことができます。

⑦寮(定員56名)

木でできた暖かみのある寮(男女)を完備しています。



中山間地域体験学習(森林セラピー)の様子



島根県立 平田高等学校

所在地：〒691-0001 出雲市平田町1	
電話番号：(0853)62-2117	
FAX番号：(0853)62-0020	
Eメール：hiratakoko@pref.shimane.lg.jp	
HPアドレス：https://www.hirata-h.ed.jp/	



設置学科 学級数 各40人定員

◆普通科 4学級

全校生徒数 434名 (R5.5.1現在)

目指す学校像

▶▶自律・協同・創造◀◀

主体的な姿勢と協調の精神をもって、常に新しい時代を切り拓き、豊かに生きていこうとする姿勢を育む学校

卒業時にめざす生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

- 1. 主体性** ～思考力 実践力～
自己の目標に向かう上で、自己を律することができる生徒
- 2. 協調性** ～調整力 表現力～
自己の役割を考えた上で、協調・協力することができる生徒
- 3. 人間性** ～探究力 創造力～
自己の実現を目指す上で、豊かな生き方へと創意工夫する生徒

入学時に求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

1. 自分で考える姿勢のある生徒
2. 自他を大切にできる姿勢のある生徒
3. チャレンジする姿勢のある生徒

平高での学び (カリキュラム・ポリシー)

1. 生徒の主体性の育成と学びの質を高める教育活動
2. 一人一人の生徒を大切にできる支援体制
～進路希望や興味関心に応じた学び…コース別学習、少人数指導～
3. 生徒の価値観を拓げる地域との協働による探究学習

学校の特徴

①学校の特徴

本校は1916(大正5)年に設立され、今年度が創立107年目の歴史と伝統を有する学校です。校地は出雲平野と宍道湖を一望できる愛宕山にあり、広い敷地と豊かな自然環境のもとで、生徒一人一人の学習状況や進路希望に対応した教育活動を行っています。

②学習活動

1年生は全員が共通の科目を学び、2年生から進路希望に合わせて文系と理系のコースに分かれます。3年生では進路希望に応じて必要な科目を選択して学習します。また、地域協働学習では、地域の方々の協力のもと地域にイノベーションを起こすことのできる人材の育成を目指して課題解決に取り組んでいます。キャリア教育も充実しており、研修旅行、職業人講演会、地元企業ガイダンスなど、実践的な活動を行っています。

③進路状況

卒業生の約95%が4年制大学、短期大学、専門学校へ進学しています。特に近年、国公立4年制大学への進学者が増加しています。

④部活動

全校生徒の90%以上が部活動に加入し、それぞれの目標に向かって意欲的に取り組んでいます。2022年度の主な結果は、駅伝部が男女ともに全国高等学校駅伝競走大会出場(女子は12年連続出場)、柔道部が女子団体戦で全国高等学校柔道選手権大会5位入賞、女子個人戦にも出場、放送部がNHK放送コンテスト準々決勝進出、吹奏楽部が個人で全日本高校生管打楽器ソロコンテストに出場するなど、運動部・文化部ともに全国レベルの活躍が続いています。



男女駅伝部の島根県高等学校駅伝競走大会優勝
(全国高等学校駅伝競走大会出場)



島根県立 出雲高等学校

所在地：〒693-0001 出雲市今市町1800
電話番号：(0853)21-0008
FAX番号：(0853)22-7855
Eメール：izumokoko@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：https://www.izumo-hs.ed.jp/



正門付近 五月には、つつじが美しく咲き誇ります

設置学科 学級数 各40人定員

- ◆普通科 6学級
- ◆理数科 1学級

全校生徒数 854名 (R5.5.1現在)

育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

- 地域・社会のリーダーとして貢献できる人財
～国創りを牽引するイノベーション人財～
- ◆明確な目標を持ち、その実現に向けて努力する人
 - ◆常に探究心を持ち続け、視野の拡大と変革を志す人
 - ◆多様性を受容し、協働して新たな価値を創造できる人

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

- ◆好奇心が旺盛で、基礎学力を有している生徒
- ◆感性豊かで、誠実に他者と関わることのできる生徒
- ◆進んで集団に貢献しようとする意欲のある生徒

学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

社会性、主体性、探究性、協働性の4つの資質を育むことを目標としています。この4つの育成のため、出雲高校では次の4つを柱に教育活動を行っています。

1. 学科・教科・授業

- ・普通科：進路に合わせて選択できる多様な科目の設置
- ・理数科：理科と数学を専門科目として設置
- ・ICT活用による個別最適化した学習および協働的学習の推進
- ・人権・道徳教育の推進
- ・インクルーシブ教育の推進

2. スーパーサイエンスハイスクール事業

- ・科学的な探究手法を用いた課題研究の実施
- ・関西先端科学研修やシンガポール・アメリカでの海外研修の実施

3. キャリア教育

- ・自己理解と進路研究プログラムの提供
- ・マインドセットング手法の提供

4. 課外活動

- ・学園の指標 (右側に説明あり) の実現を支援する学校行事の実施と部活動や生徒会活動等の自主活動の支援

学校の特徴

①学園の指標 (昭和24年に生徒会が作成)

1. 自主自立の精神に富み、気品高き自治の学園
2. 誠実、勤勉にして、社会秩序を重んずる学園
3. 教員、師弟、校友相睦み合う、友愛協和の学園

昭和24年の生徒会の皆さんが自主的に作成したものです。以降、70年以上もの間、生徒・教職員により受け継がれてきました。特に自主自立、友愛協和という言葉は、出雲高校のスローガンのような存在です。

②平田植物園 (明治37年に平田駒太郎氏が創設)

出雲高校は、植物園の中に位置する全国的にも珍しい学校です。出雲高校の校地全てと久徴園と呼ばれる裏山が平田植物園です。創設以来、多種多様な見本植物が美しく整理されて植えられてきました。出雲高校のどの教室でも、まるで森林公園の中で勉強しているかのような錯覚におちいることでしょう。久徴園の頂には展望台もあり、勉強に疲れたときのよい散策コースとなっています。出雲高校は最高の自然環境で学ぶことができる場なのです。

③施設設備

授業で使用するほぼ全ての教室に最新のICT機器と冷暖房が完備されています。体育施設も体育館とグラウンドが2つつある他、照明設備付きのテニスコート、弓道場などもあります。

④学習・進路

文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール (SSH) に指定されており、プレゼンテーション、グループ研究等の探究的な学習を行います。また全ての授業において、他者との意見共有や協働の機会が設けられています。3年間出雲高校で学ぶことにより、社会への発信力や論理的な思考能力を必ず伸ばすことができます。ほとんどの生徒が大学に進学し、各界のリーダーとして活躍しています。

⑤部活動

部活動入部率は毎年90%を超えています。平成28年度に県立高校として久しぶりに甲子園に出場した野球部、全国大会で何度も優勝している弓道部を始め、どの部活動も高い実績を誇っています。また、県内屈指の大規模校ですので、運動部・文化部共に種類豊富な部活動が揃っています。

⑥行事等

海外研修の機会が整っています。2年理数科はシンガポール研修へ、2年普通科 (希望者) はアメリカ (サンタクララ市) 研修へと毎年出かけます。また、1年生は全員参加の関西先端科学研修に参加します。その他、9月初旬の学園祭 (久徴祭)、春の遠足、球技大会など、楽しい行事もたくさんあります。



SSH研究成果発表会 (出雲市民会館大ホール) の様子



島根県立 出雲工業高等学校

所在地：〒693-0022 出雲市上塩治町420番地
電話番号：(0853) 21-3131
FAX 番号：(0853) 21-7543
Eメール：izumokogyo-hs@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：https://www.izumo-th.ed.jp/



設置学科 学級数 各40人定員

- ◆機械科 1学級 ◆建築科 1学級
- ◆電気科 1学級 ◆電子機械科 1学級

全校生徒数 405名 (R5.5.1現在)

育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

育成したい8つの力

- ◆チャレンジ精神 ◆技を極める力
- ◆貢献する力 ◆協働する力
- ◆表現する力 ◆問題解決の力
- ◆自らを律する力 ◆学び続ける力

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

ものづくりのスペシャリストの育成をめざして

- ◆工業の分野に関して、興味・関心を持ち、知識、技術及び技能の習得に誠実に取り組み、ものづくりを通して旺盛な探究心や積極性を発揮できる生徒
- ◆高校生活に明確な目標を持ち、学習や部活動等何事にも意欲的に取り組むことができる生徒

学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)



学校の特徴

【校訓】「誠実」「進取」「勤勉」

【学校のPR】

出雲市街が一望できる塩治ヶ丘にあり、快適な環境の中、充実した施設・設備で基礎基本から最先端技術まで学ぶことができます。

【進路状況】

概ね就職者が65%、進学者が35%の割合です。学校に対する企業の評価は高く、民間企業への就職内定率は毎年100%に達します。県内就職の割合が7～8割で、地元産業の発展に貢献しています。大学などに進学する生徒も増えています。

【部活動】

部活動はととても盛んで、陸上競技部・自転車競技部・アーチェリー部・弓道部・空手道部・放送部・ものづくり研究部など、全国大会に出場する部が多くあります。

【施設、設備】

5軸マシニングセンター・VR溶接機、レーザ基板加工機、万能材料試験機、ドローンプログラムなど最新の設備が導入されています。

【資格取得】

在学中に資格が取得できるよう力を入れています。主な取得可能な資格は次のとおりです。

- ・ガス溶接技能士
- ・乙種危険物取扱者
- ・第一種電気工事士
- ・2級建築施工管理技士
- ・機械保全などの各種技能士
- ・第三種電気主任技術者
- ・第二種電気工事士
- ・2級電気工事施工管理技士

【推薦入学制度】

各科定員の40%程度を推薦入学によって募集しています。部活動や学力による推薦選抜を実施しています。





島根県立 出雲商業高等学校

所在地：〒693-0011 出雲市大津町2525

電話番号：(0853) 21-0016

FAX番号：(0853) 21-0228

Eメール：izumoshogyo-hs@edu.pref.shimane.jp

HPアドレス：https://www.izusho.ed.jp



設置学科 学級数

各40人定員

- ◆商業科 3学級
- ◆情報処理科 1学級



全校生徒数 442名 (R5.5.1現在)



育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

- 「様々な課題解決力を実践し、自己プロデュースできる自立型人間の育成」
- (1) 課題発見・解決のために主体的に考え、行動できる生徒を育成します。
 - (2) ビジネスマナーやコミュニケーション能力を身に付け、他者と協働できる生徒を育成します。
 - (3) 地域や人を愛し、自己有用感、自己肯定感を抱ける生徒を育成します。



求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

- 「自立型人間の育成」を掲げる本校は、以下のことを入学者に求めます。
- (1) 心のコップが上向きで、誰からもどんなことから学ぼうとする生徒
 - (2) 自ら目標を立て、目標達成のための手立てや方法を考え、やりきることができる生徒
 - (3) 心身の健康と体力の向上を図ることができ、他者への思いやりの心を持ち、いつも笑顔でプラス思考な生徒



学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

- (1) 基礎学力と幅広い知識や教養を身に付け、豊かな情操と他者への想像力、道徳心を持った生徒を育てることを教育活動の基盤とし、生徒一人一人の個性や資質・能力、適性に応じた、多様な進路を実現するための教育課程を編成します。
- (2) 各教科・特別活動を通じて、主体的・対話的で協働的な学びを実現します。
- (3) 総合的探究の時間、課題研究や各教科の学びを通じて、ビジネスの視点を持った探究的な学びを実現します。
- (4) 「出商デパート」「課題研究」などを通じて、地域と連携した学び、地域と協働した学びを実現します。



学校の特徴

【学科の特色】

商業科：

ビジネスの世界に必要な知識、技術を総合的に学びます。2年次から興味・関心のあるコース（マーケティングコース、ビジネス経済コース、会計コース）を選択し、専門的な学習を深めます。

情報処理科：

プログラミング技術とビジネスに必要な知識を学び、ITを活用した新たなビジネスを創造する力を身に付けます。

【進路状況】

進学希望者は70%で、大学・短期大学・専修学校・各種学校に進学しています。就職希望者は30%でほとんどが県内就職です。就職内定率は、毎年100%を達成しています。

【部活動～近年の活躍～】

本校は23の運動部と文化部、2つの同好会が、それぞれ活発に活動しています。近年では女子バスケットボール部、弓道部、剣道部、ソフトテニス部、陸上競技部、バドミントン部、ソフトボール部が中国大会に出場し活躍しています。文化部では、吹奏楽部がマーチングコンテストで全国大会に出場しているほか、珠算部、簿記部、ワープロ・コンピュータ部、経済調査部も全国大会に出場しています。



出商デパート決起集会



島根県立 出雲農林高等学校

所在地：〒693-0046 出雲市下横町950番地

電話番号：(0853) 28-0321

FAX 番号：(0853) 28-0355

Eメール：izumonorin-hs@edu.pref.shimane.jp

HPアドレス：https://www.izuno.ed.jp/



設置学科 学級数 各40人定員

- ◆植物科学科 1学級
- ◆環境科学科 1学級
- ◆食品科学科 1学級
- ◆動物科学科 1学級

全校生徒数 428名 (R5.5.1現在)

育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

- ① 社会に通じる人間力を持った生徒
- ② 自ら学ぶ姿勢を持ち、志をもって社会貢献する生徒

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

- ① 植物分野 (草花・植物バイオテクノロジー・作物・野菜・果樹など)、土木・造園分野 (測量・土木施工・造園管理など)、食品分野 (農産加工・栄養分析・食品衛生・微生物利用など)、動物分野 (乳牛・和牛・畜産加工・愛玩・動物バイオテクノロジーなど) について本校の学習内容に興味関心を持ち、継続的に学習に取り組む生徒
- ② 実験・実習、プロジェクト学習での計画・実践・まとめ・発表などを通して体験学習や地域の課題解決学習に意欲的に取り組む生徒
- ③ 将来、本校で学んだことを生かしてさらに大学等で専門的に深く学んだり、地域社会で農業をはじめとした産業の発展に貢献しようとする生徒

学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

- ① 生徒の人間関係づくりを支援します。
- ② わかる授業、できる授業を目指し授業改善を推進します。
- ③ 地域との協働による教育改革を推進します。
- ④ キャリア教育 (キャリアプランニング) の充実から進路実現を図ります。
- ⑤ 農業教育の更なる充実を目指します。

総合的に「**日本一の農業高校**」と言える (評価される) 学校を目指します。

学校の特徴

(1) 校訓 **耕魂・育命**…生命を育て、自らの魂を耕せ

(2) 部活動

統一スローガン「見つけよう自分の力の可能性」のもと、各々が中国大会、全国大会を目指しています。(ウエイトリフティング部やカヌー部、出雲太鼓部が全国大会常連です。また、女子バレーボール部、バドミントン部、陸上競技部も近年力をつけてきています。)

(3) 学校行事

学習内容や農業クラブ活動の成果発表を行う「出雲農林高校発表会」、3年生、生徒会を中心に学校が一つにまとまる「体育祭」、学習活動や部活動の様子を展示したり、学校で栽培したお米や野菜、草花、製造した農畜産加工品を販売したりする「農業祭」などがあります。

各学科が目指す進路と資格取得

各学科の専門に応じた進路を目指します。進学と就職の割合は年によって異なります (R4年度：進学 59%、就職 41%)。進学先は大学や短大、専門学校をはじめ、農林大学校へも進みます。就職では公務員も含め、県内企業がほとんどです。

学科名	資格取得
植物科学	◆初級バイオ検定◆農業技術検定 ◆小型車両系建設機械◆フラワー装飾技能検定
環境科学	◆測量士補◆土木施工管理技術者◆造園技能士 ◆小型車両系建設機械、高所作業車の運転業務
食品科学	◆危険物取扱者 (丙種・乙種) ◆食生活アドバイザー◆文書処理検定
動物科学	◆愛玩動物飼養管理士 (二級)◆農業技術検定 ◆危険物取扱者 (丙種・乙種)◆初級バイオ検定等

R4年度の主な実績 (延べ人数)

アグリマイスター顕彰制度…ゴールド6名：シルバー40名、日本漢字能力検定…2級4名：準2級7名：3級69名、文書読解・作成能力検定…3級117名、実用数学技能検定…3級5名、実用英語検定…2級3名：準2級4名：3級53名、ビジネス文書実務検定…2級2名：3級27名、危険物取扱者…丙種5名、乙種4類3名、バイオ技術者認定試験…初級24名、フラワー装飾技能士…3級6名、測量士補…15名、土木施工管理技術者…2級27名、造園技能士…3級5名、食生活アドバイザー…3級4名、愛玩動物飼養管理士…2級22名、日本農業技術検定…2級1名、3級51名、小型車両系建設機械 (整地運搬等) の運転業務…23名、高所作業車…18名、全国高等学校家庭科食物調理技術検定…15名、料理検定…5名、菓子検定…6名



◀出雲農林高校
農業祭



出雲農林高校イメージキャラクター
「モーリン」



島根県立 大社高等学校

所在地：〒699-0722 出雲市大社町北荒木1473

電話番号：(0853)53-2002

FAX番号：(0853)53-2244

Eメール：taisyakoko@pref.shimane.lg.jp

HPアドレス：https://www.taisha.ed.jp/



設置学科 学級数 各40人定員

- ◆普通科 5学級
- ◆体育科 1学級

全校生徒数 687名 (R5.5.1現在)

育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

【普通科】

地域の課題を見据え、その解決のために必要な資質・能力を身につけた、地域の未来を担う人材

【体育科】

スポーツにかかわる専門的資質や能力を身につけた、島根のスポーツ界の未来を担う人材

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

【2学科共通】

- ・自分で考えようとする姿勢が持てる生徒
- ・目標に向けて努力し続ける意欲・粘り強さのある生徒
- ・自他を大切にできる意識・態度のある生徒

【普通科】

- ・知的好奇心の旺盛な生徒

【体育科】

- ・優れた能力と実績、意欲のある生徒

学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

【2学科共通】

- ・生徒の当事者意識と他者と協働する力を育む活動の推進
- ・目標達成に向けて計画的に粘り強く取り組む活動の推進
- ・生徒同士の学び合いを取り入れた授業づくり
- ・あらゆることに挑戦できる機会の確保

【普通科】

- ・課題発見と課題設定を中心とした「問い」を生む授業
- ・学びのプロセスを大切にできる授業

【体育科】

- ・探究活動を通じた専門的知識の習得と高度な運動技能の習得を狙う授業 (運動の論理実践)
- ・体育・スポーツを通じた個の力と集団の力の育成を図る授業

(1) 長い歴史と伝統

本校は、1898年(明治31年)に簸川郡立島根県簸川尋常中学校として創立され、校名変更や女学校との統合、校舎移転等を経て、創立から120年を超える歴史と伝統のある学校です。卒業生は2万8千人を超え、日本や世界の様々な地域や分野で活躍しています。

(2) 盛んな部活動

運動部18部、文化部12部あり、部活動加入率が91%を超え、勉学との両立を図りながら活動しています。令和5年度は、野球部が春季県大会で優勝し、県高校総体では、男女総合2位となりました。陸上競技部、女子バレーボール部、剣道部、体操競技部が全国高校総体に出場します。

(3) 全国に誇る体育科

1973年(昭和48年)に設置された体育科は、島根県で唯一無二の存在で、アスリートを養成する学校体育及び社会体育の指導者を数多く輩出しています。普通科の他に、体育・スポーツに関する専門科目があり、スポーツ理論を学ぶスポーツ総合演習や、キャンプ、スキー、スケート、水泳などの校外実習も行います。

(4) 自分を好きでいられる学校

多様な進路希望に対応するコース制をとる普通科と特徴的な体育の専門科目が充実する体育科の2学科があり、部活動との両立を図りながら、進路実現ができる学校です。生徒も教員も様々なことにチャレンジしながら充実した学校生活を送っています。





島根県立 大田高等学校

所在地：〒694-0064 大田市大田町大田イ568

電話番号：(0854)82-0750

FAX番号：(0854)82-1333

Eメール：odakoko@pref.shimane.lg.jp

HPアドレス：https://ohda-hs.ed.jp/



平成 27 年 7 月に完成した新校舎

設置学科 学級数 各40人定員

◆普通科 3学級 ◆理数科 1学級

全校生徒数 382名 (R5.5.1現在)

育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

地域とともに未来を切り拓く生徒
～自分自身で 決める・語る・動く ことができる生徒～

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

自らを向上させ、目標を達成しようとする意欲ある生徒

学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

キャリア形成に向けて、地域・社会と協働して課題解決能力を高める生徒

・課題解決型学習

各教科及び総合的な探究の時間等の学びを通じた課題解決能力の育成

・ICT教育

充実したICT環境のもと「個別学習」や「協調学習」を取り入れた学びを通して、自ら主体的・対話的な学びを表現し創造性や個性を育成

・協調学習

主体的・協働的な学びを通して身につけた知識や技能を関連付け体系化し生涯にわたり活用できるよう、身につけたい資質・能力を総合的に育成



地域探究学習の一コマ

学校の特徴

本校は大正 10 年に島根県立大田中学校として発足して以来、令和 3 年度 100 周年を迎えた伝統ある学校です。創立以来、本校には勉強だけでなく部活動を始めとする様々な活動に積極的に参加する気風があり、文武両道を追求する姿勢は現在も脈々と受け継がれています。

【進路状況】

生徒の多くは、4 年制大学、短期大学、専門学校といった上級学校への進学を目標としています。就職希望者も、公務員や一般企業への就職を目指して日々努力をしています。また、総合的な探究の時間などを通して自分の将来について考えるとともに、未来を切り拓く力を身に付けていくことができます。

【部活動の活躍】

全校生徒の約 9 割が部活動に加入し活躍しています。

【過去5年間の中国大会出場部】

運動部	◆剣道部◆卓球部◆男子テニス部 ◆柔道部◆陸上部
文化部	◆吹奏楽部◆囲碁将棋部 [囲碁、将棋] ◆写真部

【過去5年間の全国大会出場部】

運動部	◆弓道部◆ソフトテニス部
文化部	◆文芸・報道部 [文学部門、新聞部門] ◆写真部◆美術部◆囲碁将棋部 [囲碁、将棋]

【学校行事】

遠足、球技大会、校内ロードレース大会、寒稽古 (1 年生) と年間を通じて各種の行事があります。とりわけ、9 月初めの「大高祭」と呼ばれる学園祭は最終日の体育祭を含め 3 日間にわたって開催される一大イベントです。これらの行事を通じて、生徒たちは友情を深め団結力を育むとともに、良き思い出を心に残しています。



島根県立 瀬摩高等学校

所在地：〒699-2301 大田市仁摩町仁万907

電話番号：(0854) 88-2220

FAX番号：(0854) 88-4417

Eメール：nimakoko@pref.shimane.lg.jp

HPアドレス：https://www.nima.ed.jp/



設置学科 学級数

各40人定員

◆総合学科 3学級



全校生徒数 246名(R5.5.1現在)



育てたい生徒像(グラデュエーション・ポリシー)

- (1) 地域に愛着と誇りを持ち、地域の発展に貢献できる生徒
- (2) 自らの課題や目標を設定し、自己実現に向けて主体的に取り組む生徒
- (3) 多様性を認め、協働しながら、課題を解決できる生徒
- (4) 自己肯定感・自己有用感が抱ける生徒



求める生徒像(アドミッション・ポリシー)

- (1) 基本的な生活習慣と基礎学力が身につけており、主体的に粘り強く何事にも取り組める生徒
- (2) 本校の学習内容に興味・関心があり、他の生徒と協力しながら、より良い学校生活を築いていくことができる生徒
- (3) 地域に愛着と誇りを持ち、将来、地域に貢献しようとする志を持つ生徒
- (4) 自他ともに尊重し、思いやりをもってより良い人間関係を築こうとする生徒



学びの特色(カリキュラム・ポリシー)

- (1) わかる、できたが実感できる授業の実践
 - ・ICT機器を活用した基礎学力の確かな定着
 - ・ユニバーサルデザインやSST(ソーシャルスキルトレーニング)を取り入れた授業
- (2) 自分の進路や興味・関心により総合学科ならではの多様な選択ができる教育課程
 - ・実習を重視し、検定・資格取得の学習も含めた専門的知識と技術の向上
 - ・柔軟な科目選択による幅広い学びと多様な進路選択
- (3) 「産業社会と人間(総合学科原則履修科目)」[総合的な探究の時間]を柱としたキャリア教育や体験や地域連携を重視した活動の実践
 - ・出会いと関わり合いを通して視野を広げ、自分を見つめ、多様な価値観を育成する
 - ・地域社会や自らの課題に対し主体的に解決方法を探究し、進路実現に向け勤労観を養う
 - ・専門的知識・技術を活用した課題解決学習(課題研究など)や瀬摩高フェアの企画・運営によって地域への貢献方法を探究する
- (4) 地域との協働による学校魅力化の推進
 - ・コンソーシアムを活用して地域関係機関と連携しながら地域課題解決や地域貢献に取り組む



学校の特徴

【本校総合学科の特長】

- ①幅広い選択制
- ②豊富な体験的学習活動
- ③少人数・専門的授業

【実習中心に学ぶ専門的4系列】

系列	学習内容等
農業とくらし	農業生産、食品製造の学習
みらいビジネス	情報・簿記・流通・会計の学習
食とこども	食物・保育の学習
ひとと福祉	社会福祉・介護の学習

【特色ある教育課程】

2年次より1週間に30時間の授業の内、次の時間を自分で選択して学習します。

学年	総合・自由選択教科の科目	
2年	12時間	27科目
3年	22時間	56科目

【取得を目指す主な資格】


農業とくらし	◆危険物取扱者(乙種、丙種)◆毒物取扱者 ◆小型車輛系建設機械◆2級ボイラー技士 ◆日本農業技術検定2、3級◆食生活アドバイザー
みらいビジネス	◆全国商業高等学校協会 簿記、珠算、電卓、情報処理、商業経済、ビジネス文書1～3級 ◆日本商工会議所 簿記、珠算2～3級 ◆国家試験ITパスポート
食とこども	◆全国高等学校家庭科技術検定 食物調理、被服製作、保育技術1～4級
ひとと福祉	◆介護職員初任者研修課程◆あいサポーター ◆認知症サポーター◆普通救命講習Ⅰ ◆福祉住環境コーディネーター3級

【特色ある教育活動】



- ①瀬摩高フェア
- ②アンバサダー事業(出前授業)
- ③瀬摩高校学習成果発表会
- ④仁摩健康公園花時計の植替え
- ⑤石見銀山保全活動プロジェクト
- ⑥瀬摩高を考える会



瀬摩高フェア



島根県立 島根中央高等学校

所在地：〒696-0001 邑智郡川本町川本222	
電話番号：(0855)72-0355	
FAX番号：(0855)72-0388	
Eメール：shimanechuo-hs@edu.pref.shimane.jp	
HPアドレス：https://www.shimane-chuo.ed.jp/	



設置学科 学級数

各35人定員

- ◆普通科(コース制・総合選択制) 3学級

全校生徒数 219名 (R5.5.1現在)

育てたい生徒像(グラデュエーション・ポリシー)

- ◆自らうごく
(自分で調べ、考え、判断して行動する)生徒 **自立**
- ◆共にあゆむ
(人と対話し、知恵と思いを共有する)生徒 **共生**
- ◆未来をつくる
(最良の未来に向け、困難に立ち向かう)生徒 **挑戦**

求める生徒像(アドミッション・ポリシー)

- ◆基礎的な学力や向学への態度が身についている生徒
- ◆年齢や所属を超えて多くの人との交流をもちたい生徒
- ◆地域の課題解決や新しいコトにチャレンジしてみたい生徒

学びの特色(カリキュラム・ポリシー)

【幅広い進路に対応する <教科・科目>】

自然科学コース、人文科学コース、地域デザインコース

【学ぶ力を育てる <総合的な探究の時間>】

- 1年次：探究手法習得プログラム
- 2年次：個人探究プログラム
- 3年次：進路探究プログラム

【人間力を育てる】

部活動(全国大会出場多数)

【社会人力につなげる <課外活動>】

進学ゼミ、生徒会活動、地域教育プロジェクト

学校の特徴

学びを支える土壌

- ◆全国100以上の中学校から集まる多様な文化的背景を持った生徒たち
- ◆年齢や所属を超えた交流の場(卒業生/大学生/社会人等)
- ◆各コーディネーターの配置
(探究学習/高大連携/地域協働/部活動/寮運営等)
- ◆習熟度に合わせた少人数指導体制
- ◆ICT環境の整備
- ◆高大連携の推進(島根大学/島根県立大学/麻布大学等)
- ◆ユネスコスクールネットワーク
- ◆男女の区別なく、自由に選べる制服
- ◆まち親制度のある寮生活
- ◆島根中央高校後援会
- ◆教育創生コンソーシアム島根中央(川本町/美郷町)

2年生から学ぶ3つのコースの特色

【人文科学コース】

人文科学コースは、国公立・私立大学や短期大学等への進学を目指す文系コースです。教科・科目の選択が多いことから、在籍する生徒数が3コースの中で最も多く、国語や英語、数学などの教科を幅広く学習します。

【自然科学コース】

自然科学コースは、国公立・私立大学、医療・看護大学等への進学を目指す理系コースです。自然や科学、医療分野への進路を考えている人に適しており、数学や理科などの理数科目を多く学習します。

【地域デザインコース】

地域デザインコースは、探究学習を活かした進学や就職を目指すコースです。地域をフィールドにまちごとキャンパス学習などの特徴的な科目、商業や家庭科などのキャリア形成科目を中心に学び、基礎学力・社会人力を身につけます。



学校内のLinkベース(探究活動の相談拠点)



島根県立 矢上高等学校

所在地：〒696-0198 邑智郡邑南町矢上3921

電話番号：(0855)95-1105

FAX番号：(0855)95-1995

Eメール：yakami-hs@edu.pref.shimane.jp

HPアドレス：https://www.yakami.ed.jp/



設置学科 学級数

- ◆普通科 2学級(72人定員)
- ◆産業技術科 1学級(36人定員)

全校生徒数 273名 (R5.5.1現在)

育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

- ◆多様な分野でチャレンジすることができる確かな知識・技能を身に付けた人
- ◆地域社会の様々な課題に主体的に向き合い、地域の発展に寄与することができる人
- ◆思いやりの気持ちや協働する姿勢を身に付け、他者や社会との共生ができる人

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

- ◆中学校段階までの基礎学力を身に付けている生徒
- ◆学習やその他の活動に目的意識を持って意欲的に取り組もうとする生徒
- ◆思いやりを持ち、様々な立場の人と協働しようとする生徒
- ◆農業や工業に興味・関心がある生徒 (産業技術科)

学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

- ◆普通科2コース (探究・総合)、産業技術科3コース (植物・動物・工業) のコース制により、進路希望や興味・関心に応じた学びが可能
- ◆小規模校のメリットを生かした習熟度別授業・少人数指導により、生徒の学力や到達度に応じたきめ細かい指導を展開
- ◆地域住民・地元企業との密接な連携により、総合的な探究の時間、課題研究を中心に地域課題を題材とする探究的・協働的な学びを充実

学校の特徴

【沿革】 大正3年 矢上村立実業補習学校として創立
昭和23年 島根県立矢上高等学校となる

県立高校に移管されるときには地域をあげての協力があり、現在も地域に深く根ざした学校として地元の人々に愛されています。

【校訓】 「腕に覚えのある人間」
「筋金の通った人間」
「思いやりのある人間」

【教育方針】

本校は、豊かな自然の中で、生徒一人一人の「生きる力」の育成を目標に着実な成果をあげています。生徒と教職員の緊密な人間関係を基盤とした丁寧な指導により、生徒の一人一人を大切にしている学校です。

【教育課程】

普通科と産業技術科を併設しています。普通科は、2年次から進路志望により2つのコースに分かれます。選択科目も多く、一人一人の進路希望に対応できる指導体制をとっています。産業技術科は、1年次は植物・動物・工業について幅広く学びます。2年次からは自分の興味・関心に応じて、植物・動物・工業の3つのコースのうち1つを選択して実習中心に専門科目を深く学びます。

【進路状況】

約90%が進学、10%が就職しています。進学先は、国公立・私立の4年生大学・短大・専門学校・看護学校など多様です。就職は、一部は公務員、多くは民間企業です。

【部活動】

小規模校ながら部活動の種類が多く、例年9割以上の生徒が部活動に加入しています。個人でスキーや水泳に取り組む生徒もいます。神楽愛好会や食と農研究会など特色のある活動も行われています。





島根県立 江津高等学校

所在地：〒695-0021 江津市都野津町293	
電話番号：(0855)53-0553	
FAX番号：(0855)53-0838	
Eメール：gotsukoko@pref.shimane.lg.jp	
HPアドレス：https://www.gohtsu.ed.jp	



設置学科 学級数 各40人定員

◆普通科 2学級

全校生徒数 180名 (R5.5.1現在)

育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

自らの成長のために挑戦できる生徒

育成したい資質・能力 (生徒育成方針) 「4つのC」

- ① Challenge (挑戦)
失敗を恐れず、積極的に行動する力
- ② Collaboration (協働)
多様性を大切にし、相手を受け入れ協働する力
- ③ Critical Thinking (批判的思考)
広い視野で物事を客観的にとらえ、自ら判断する力
- ④ Communication (対話)
相手に伝わるように表現する力・聴く力

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

地域や社会の一員としての自覚を持ち、自らの成長のために挑戦しようとする生徒

学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

- (1) 出会いを通して感動し、協働する機会を与えます
 - ◆地域の人々と連携した活動を通して、学びの糸口をつかませます。
 - ◆他者と協働し、答えのない問いに向かい続ける姿勢を養います。
- (2) 自ら考え、判断し、表現する機会を与えます
 - ◆主体的・対話的で深い学びにつながる授業を推進します。
 - ◆言語活動を充実させ、読書に親しむ姿勢や表現する力を育てます。
- (3) 多様性を大切にし、意欲的になる機会を与えます
 - ◆部活動や社会活動などを通して、他者の価値観を尊重する態度を育てます。
 - ◆地域や社会の一員として自己有用感を感じられるよう支援します。

学校の特徴

◆江津高校の魅力

point1 自分のペースでチャレンジ

⇒開かれた環境の中、自分のペースで好きなことにチャレンジすることで、自分の個性を発見し活かすことができる!

point2 全校生徒の部活動加入率 98%

⇒強制加入ではないのに、この高い割合!それは、やってみたい部活動・それぞれに合った活動の形があるから!

point3 地域のイベントで、楽しみながら学べる

⇒地域では年間20件以上のイベントが開催され、生徒は参加するだけでなく運営者としてボランティアや企画に関わり、地域に応援してもらいながら様々な経験を積むことができる!

【校訓】 思慮・高邁・貫徹

【学校のキャッチコピー】

地域の学びを通して輝かせる自分の原石
～自分のペースで、自分の個性で～

①地域との距離が近い学校

1・2年生は学校を飛び出し、地域をフィールドとした課題探究学習に取り組みます。

②やってみたいを支援する学校

小規模の学校でありながら県内唯一の水球部があるなど、運動部・文化部ともに多くの部活動をサポートしています。また生徒の声から修学旅行も実現しました。

③多様性を大切にする学校

少人数によるきめ細かい指導で生徒一人ひとりの個性を尊重し、就職から進学まで多様な進路を応援します。





島根県立 江津工業高等学校

所在地：〒695-0011 江津市江津町1477番地

電話番号：(0855)52-2120

FAX番号：(0855)52-2264

Eメール：gotsukogyo-hs@edu.pref.shimane.jp

HPアドレス：https://www.gotsu-th.ed.jp



設置学科 学級数

各40人定員

- ◆機械・ロボット科 1学級
- ◆建築・電気科 1学級



全校生徒数 133名 (R5.5.1現在)



育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

一地域産業を担うテクノロジストの育成一

- ◆教育基本法に則り、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を養うとともに、多様性を受け入れ、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備えた地域産業を担うテクノロジストを育成します。



求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

次のいくつかの項目を兼ね備えた生徒

- ・工業に関する学びを通して叶えたい目標がある生徒
- ・ものづくりや資格取得などに意欲的に取り組む生徒
- ・人権尊重の精神に富み、部活動や奉仕活動に積極的に取り組む生徒
- ・地域を愛し、地域に貢献したいと考えている生徒



学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

- ◆共通教科を中心とした基礎学力の定着から、工業に関する、機械、電気、建築に関する専門教科を座学だけではなく実習等の実技を通して協働的・実践的・体験的に学び、技術・技能の習得を段階的・計画的に行うことで職業観・労働観を身につけながら、就職や進学に対応できる学力を身につけます。また、課題研究など協働型・問題解決型探究型学習を通して主体的に思考する発展的な学習を行いプレゼンテーション力、自己管理能力を育成します。技術や技能を身につけて、高度資格取得にも挑戦します。



学校の特徴

【校訓】 「質実剛健」「不撓不屈」

【概要】

明治35年創立の那賀郡立蚕業講習所を前身とし、昭和9年に県立江津工芸学校として開校しました。令和5年度で開校89周年を迎えた伝統のある学校です。

卒業生は1万3千人余名で、地元行政、地元企業、県外企業で活躍しています。

【教育課程】

- ・機械・ロボット科は、2年生から機械コースかロボット制御コースのどちらかを選択して学習を行います。
 - ・建築・電気科は、1年生の概ね5月末に建築コースか電気コースのどちらかを選択して学習を行います。
- どちらの学科も自らの知識や技術を使って、地域課題などについて地元企業や大学などと共同研究を行っています。

【進路状況】

- ・大学でも就職でも、行きたいところへ！
- 企業とのつながりが強く、どんなときも多くの求人をしており、第一志望の就職先への内定率が高いのが特徴です。このように就職イメージの強い工業高校ですが、より高度な学びを求め、また「教員になりたい」と思い、毎年のように大学へ進学している生徒がいます。工業高校に行けば必ず工業関係に就職するというのではなく、工業高校で学んだ知識や技術は、将来のどこかで必ず役に立ってくれることでしょう。





島根県立 浜田高等学校

所在地：〒697-0024 浜田市黒川町3749

電話番号：(0855) 22-0042

FAX 番号：(0855) 22-2457

Eメール：hamada-hs@edu.pref.shimane.jp

HPアドレス：https://www.hamakou.ed.jp/



設置学科 学級数 各40人定員

◆普通科 4学級 ◆理数科 1学級

全校生徒数 536名 (R5.5.1現在)

育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

DAVINCh Gs (ダヴィンチ・ゴールズ)

Diversity 多様性	多様な価値観・個性を尊重できる感性
Accord 主体性	自ら進んで取り組む力 of one's own accord (自発的)
Vision 先見性	広い知識と視野を持ち、自己を見つめ、将来を見通す力
Network 協働性	つながりを大切にし、他者と協働する力
Challenge 挑戦	失敗を恐れず、積極的に行動する力

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

- ◆中学校において基礎学力を身につけ、勉学への強い関心と意欲を持っている生徒
- ◆自己実現に向けて誠実な努力ができ、本校での様々な活動に主体的に参加できる生徒

学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

普通科	理数科
【カリキュラムポリシー】	
生徒会活動・学校行事・部活動等多様な場面での他者との協働	
大学・社会でも学びを継続できる幅広い教養と主体性	
HIRAKU 地域についての課題解決学習	HIRAKU 理数科課題研究・首都圏研修
文系・理系の基盤となる 学力養成	理数系に重点を置いた 学力養成

学校の特徴

【飛翔・石見の雄】

浜田高校は令和5年度に創立130周年を迎えた県西部屈指の伝統校です。卒業生は4万人を超え、地域の熱い期待と支援を受け名実ともに「石見の雄」として、「高い理想と誠実な努力」という教育目標のもと、地域の活性化、21世紀の日本・世界を舞台に活躍できる人材、ふるさとに貢献する人材の育成に努めています。

【学力の向上】

- ◆進路希望に合わせた学習内容
- ◆きめ細やかな指導体制
習熟度別学級編制、学力補充講座、特別講座、土曜補習
- ◆ICT機器や協調学習によるわかりやすい授業を展開

【部活動】

- ◆運動部
硬式・軟式野球部、体操部、ソフトテニス部、弓道部、水泳部、陸上競技部など多くの部活動があり、全国・中国大会へ数多く出場するなど活躍しています。
- ◆文化部
吹奏楽部、合唱部、放送部、自然科学部、美術部、書道部など多くの部活動があり、全国総文祭や各種コンクールに数多く出場するなど活躍しています。

【充実した学校行事】

- ◆クラス対抗合唱コンクール (MF) や東西南北4チームに分かれて競う体育祭など伝統ある学園祭 (浜高祭) は地域からも注目されています。

【総合的な探究の時間「HIRAKU」】

- ◆普通科で地域の方と対話する「トークフォークダンス」を実施
- ◆県内外の職業人や大学と連携したキャリア教育や進路学習
- ◆教科学習と地域の課題解決を結び付けるPBL (Problem Based Learning) を実施
- ◆キャリアパスポートを作成し、これまでの自分を振り返り、将来の進路を拓いていきます。
- ◆理数科では、首都圏での先端科学技術研修や地元の研究施設や大学訪問、課題研究等の先進的な学習に取り組んでいます。



2年 HIRAKU PBL [課題解決型学習]
地域の方から課題のヒントを得るプログラム



島根県立 浜田高等学校 定時制課程

所在地：〒697-8789 浜田市黒川町3749

電話番号：(0855) 22-0187

FAX 番号：(0855) 22-2549

Eメール：hamada-teitsu@edu.pref.shimane.jp

HPアドレス：https://teitsu.hamakou.ed.jp/



設置学科 入学定員

- ◆普通科<昼間部> 40名
- ◆普通科<夜間部> 40名

全校生徒数 69名 (R5.5.1現在)

育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

DAVINCh Gs (ダヴィンチ・ゴールズ)

広範な知識・教養

多様な視点

柔軟な思考力

Diversity 多様性 多様な価値観・個性を尊重できる感性

Accord 主体性 自ら進んで取り組む力 of one's own accord (自発的)

Vision 先見性 広い知識と視野を持ち、自己を見つめ、将来を見通す力

Network 協働性 つながり大切に、他者と協働する力

Challenge 挑戦 失敗を恐れず、積極的に行動する力

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

- ◆多様な価値観や自他の人格を尊重できる生徒
- ◆高校生活に必要な生活習慣や態度が身についている生徒
- ◆地域社会で貢献するための基本的な知識や技能の習得をめざし、前向きに学習に取り組む生徒
- ◆他者とのつながりを大切にできる生徒
- ◆自己を見つめ、自己と社会の将来を考え努力しようとする生徒

学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

自分の学びと生活との両立が実現できるカリキュラム

生活と両立しながらの学習：二部制

- ◆昼間部、夜間部のいずれかに所属
- ◆定通併修や他部履修も可能 (条件あり)

協働を通して将来を切り拓く学習

生活体験発表・生徒会活動・
グループ研修・ボランティア活動・
インターシップ・社会人基礎力講座等

学校の特徴

浜田高校定時制は昭和 25 年に県西部で唯一の定時制夜間部普通科として発足しました。平成 24 年 4 月、新たに昼間部を設置し二部制となり、全日制と併用していた校舎とは別に新しく専用の校舎が建てられ、県西部の定通教育の拠点校として新たにスタートしました。

全日制課程と比べて自分の時間を多くとることができ、進学や就職のための勉強や仕事・趣味の時間に活かすことができます。

【自分の学びと生活との両立が実現できる学校】

- ①二部制…どちらかの学習時間帯に所属します。
昼間部 (授業時間帯 13:10 ~ 16:30)
夜間部 (授業時間帯 17:25 ~ 20:40)
- ②修業年限…自分の所属する部でじっくりと学習し、4年で卒業できます。
- ③三修制…学習状況が良好な場合には、通信制を併修することで3年で卒業することも可能です。

【日課表】

	時限	時間
昼間部	1 限	13:10 ~ 13:55
	2 限	14:05 ~ 14:50
	3 限	14:55 ~ 15:40
	4 限	15:45 ~ 16:30
夜間部	5 限	17:25 ~ 18:10
	6 限	18:15 ~ 19:00
	7 限	19:05 ~ 19:50
	8 限	19:55 ~ 20:40



島根県立 浜田高等学校 通信制課程

所在地：〒697-8789 浜田市黒川町3749
電話番号：(0855)22-0187
FAX番号：(0855)22-2549
Eメール：hamada-teitsu@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：https://teitsu.hamakou.ed.jp/



設置学科 入学定員

◆普通科 100名

◆**全校生徒数 247名**(R5.5.1現在)

育てたい生徒像(グラデュエーション・ポリシー)

DAVINChGs (ダヴィンチ・ゴールズ)

広範な知識・教養	多様な視点	柔軟な思考力
Diversity 多様性 多様な価値観・個性を尊重できる感性	Accord 主体性 自ら進んで取り組む力 of one's own accord(自発的)	Vision 先見性 広い知識と視野を持ち、自己を見つめ、将来を見通す力
Network 協働性 つながりを大切にし、他者と協働する力	Challenge 挑戦 失敗を恐れず、積極的に行動する力	

求める生徒像(アドミッション・ポリシー)

- ◆多様な価値観や自他の人格を尊重できる生徒
- ◆生活習慣を整え、学校や社会のルールを守ることができる生徒
- ◆地域社会で貢献するための基本的な知識や技能の習得をめざし、前向きに学習に取り組む生徒
- ◆他者とのつながりを大切にできる生徒
- ◆自己を見つめ、自己と社会の将来を考え努力しようとする生徒

学びの特色(カリキュラム・ポリシー)

自分のペースで学ぶことができるカリキュラム

自分で計画を立てる学習：単位制

- ◆スクーリング(面接指導)受講
- ◆レポート提出等

自他を大切に将来を見通す学習

地域巡検・生活体験発表・集団研修・生徒会活動・ボランティア活動・健康講座・社会人基礎力講座等

学校の特徴

【自分のペースで学ぶことができる学校】

①単位制

自分の学習のペースや目標に合わせて、オリジナルの「時間割」を作成し学習できます。

②スクーリング

(日曜日：年間20回程度、火曜日：年間20回程度設定)

◆全日制や定時制の授業に相当するもので、自分で計画的に登校して受講します。

◆レポートの作成に役立ち、質問もできます。

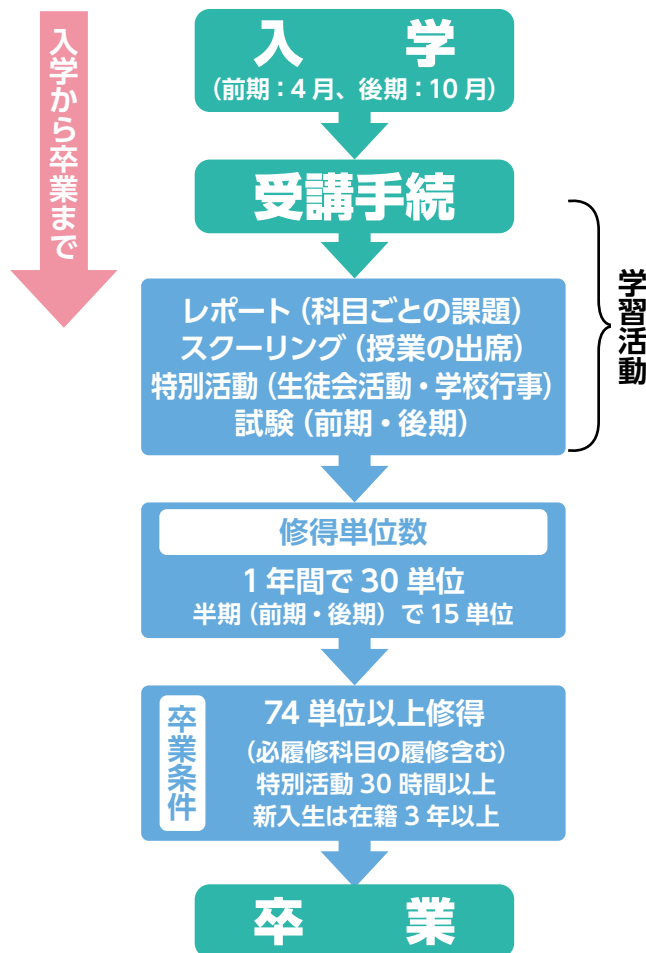
③レポート

◆教科書で自学自習した内容をもとに作成し、学校に提出します。

◆提出したレポートは添削指導を受け合格する必要があります。

◆提出数は各科目ごとに決まっています。

④修業年限 3年以上





島根県立 浜田商業高等学校

所在地：〒697-0062 浜田市熱田町675

電話番号：(0855) 27-0064

FAX番号：(0855) 27-2841

Eメール：hamadasyogyokoko@pref.shimane.lg.jp

HPアドレス：https://www.shimane-hamasho.ed.jp



設置学科 学級数 各40人定員

◆商業科 1学級 ◆情報処理科 1学級

※1年生はくくり募集のため、同じカリキュラムで学習し、2年次に2学科から選択します。

全校生徒数 216名(R5.5.1現在)

育てたい生徒像(グラデュエーション・ポリシー)

ビジネス教育を通して、知徳体バランスのとれた人間力を育むとともに、地域の活性化に貢献する生徒を育てる

- (1) 地域に信頼され、また地域から必要とされる生徒
- (2) 地域の活性化に向けた取り組みができる生徒
- (3) キャリア教育の推進により進路実現に努める生徒

求める生徒像(アドミッション・ポリシー)

- (1) 商業に関する学習に興味・関心があり、目的意識を持つ生徒
- (2) 学習活動と部活動の両立に熱意と意欲を持って努力する生徒
- (3) 基本的な生活習慣を身につけ、規範意識を確立している生徒

学びの特色(カリキュラム・ポリシー)

- (1) 主体的・対話的で深い学びと探究的な学びとなる授業を実施し、基礎学力の定着を図る。
- (2) 人権意識の高揚を図り、自他を大切にしている行動がとれる心を育む。
- (3) 部活動や生徒会活動を通して主体性等の非認知能力を涵養し、自己の成長を自覚する。
- (4) 気持ちの良いあいさつ、身だしなみ等、ビジネスマナーを大切にしている教育を実践する。
- (5) 家庭・地域・企業・他校と連携し、地域貢献の精神を培い、学校と地域の活性化を図る。
- (6) 高度資格取得に向けて、主体的・積極的に取り組む姿勢を育む。
- (7) 商業高校として特色ある教育課程を編成し、専門性を高める。
- (8) ICT機器の活用を推進し、時代の変化や社会の変化に対応する教育を推進する。

学校の特徴

浜田商業高校だからできる実践的カリキュラム
商業高校の実学を体験的に学習することで、常に化する社会で即戦力として活躍できる人材育成を行います。

◆地域とつながる浜商デパート(大規模販売実習)

大規模販売実習は、商業高校にしかない学びの実践の場にあたるものです。地域の方に商品を販売、または接客を通じて商業の学びを振り返る機会となっています。

◆起業家精神を育てる IT 人材育成事業

IT 人材育成事業では、教員と地元 IT 企業が連携して、協同で授業を行います。

◆地域×「自分の好き」地域探究活動

地域探究活動では、2年間で学んだ商業の知識・技術と自分の興味関心事を掛け合わせ、地域で活動します。



◆部活動

文化部 文芸 生活科学 郷土芸能 吹奏楽
茶道 | IT 商業研究

IT 商業研究部 3競技(部門)で全国大会へ
ワープロ競技(2年連続)

ビジネス計算競技

情報処理競技

運動部 野球 ソフトテニス 陸上競技 サッカー
バレーボール バasketボール
ソフトボール 弓道 柔道 卓球

バスケットボール部は県総体でベスト8

陸上競技部は県総体男子110mHで優勝し

陸上競技部はインターハイ出場

◆入学者選抜について

部活動や学力、特別活動による推薦選抜を実施しています。
推薦選抜、一般選抜ともに「一括募集(くくり募集)」です。



島根県立 浜田水産高等学校

所在地：〒697-0051 浜田市瀬戸ケ島町25の3
電話番号：(0855) 22-3098 / 22-3099
FAX番号：(0855) 23-4811
Eメール：hamadasuisan-hs@edu.pref.shimane.jp
HPアドレス：https://hamasui.ed.jp



設置学科 学級数 各40人定員

- ◆海洋技術科 1学級 ◆食品流通科 1学級

全校生徒数 119名 (R5.5.1現在)

育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

- 水産・海洋関連の専門的な知識・技術とその資格を身につけた生徒
- 実社会で役立つ発想力・企画力・行動力を身につけた生徒
- 他者を思いやり、他者とのコミュニケーションを大切にす、協働力を身につけた生徒
- 希望の進路に向かい、それを実現しようとする未来力を身につけた生徒
- 身につけた力を社会や地域のために還元できる生徒

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

- 中学校までの基礎的な学力や基本的生活習慣を身に付けている生徒
- 海・船・魚・食品に興味・関心を持ち、学ぶことに対して強い意志を持つ生徒
- 高校での発展的な学びに意欲的に取り組み、資格取得に積極的に取り組む生徒
- 高校での諸活動に積極的に取り組み、自分を高めようとする生徒

学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

海洋技術科		食品流通科
何を学ぶか どのように学ぶか	何ができるようになるか 何が身に付けられるか	何を学ぶか どのように学ぶか
専門科目の授業 (教室)	専門的な知識・技術	専門科目の授業 (教室)
専門的な学習	資格 (手に職をつける)	専門的な学習
乗船実習 (浜田沖・ハワイ沖) 漁業実習・機関実習	専門的な知識・技術 行動力・協働力	食品製造実習・食品管理実習 販売実習
課題研究 (課題解決、ものづくり)	発想力・企画力・行動力	課題研究 (課題解決、新商品開発)
部活動・生徒会活動・学校行事	思いやりとコミュニケーションを大切にする協働力	部活動・生徒会活動・学校行事
基礎・基本的な学習の積み上げ (主として普通教科)	土台としての学力	基礎・基本的な学習の積み上げ (主として普通教科)
地域との協働 (HAMADA 魅力化コンソーシアム)	産官学の連携 (学校・地域の企業・漁業者・市・県・大学)	

学校の特徴

【学習、資格、進路について】

海洋技術科は「海・船・魚」についての学習をします。2年生からは興味・関心に応じて「海洋コース」と「機関コース」に分かれて学習をします。

食品流通科では、「食育」特に「食の安全・安心」を心掛けて、食品の製造、品質の管理、流通等について学習します。

企業と共同しての商品開発や出迎授業、地域と連携し小中学生に「思い出に残るノドグロ給食」の提供等の地域貢献活動にも力を入れています。

本校での学習を通して取得できる主な資格は次のとおりです。

三級海技士 (航海・機関)、四級海技士 (航海・機関)、一級小型船舶操縦士、一級海上特殊無線技士、危険物取扱者、ガス溶接講習、アーク溶接等業務特別教育、2級ボイラー技士、潜水士、第三種冷凍機械責任者、水産食品技能検定、日検日本語ワープロ検定、日検情報処理検定、HACCP 検定など。

進路については、例年約 60%の生徒が就職し、40%が進学しています。就職者の約半数以上が地元企業に就職し、地域産業の担い手として活躍しています。進学者は本校専攻科や4年制大学、短期大学、専門学校などに進み、海洋・食品・栄養などの専門性を更に高める学習をしています。

【専攻科 (修業 2年)】

海洋技術科 3年間の課程を卒業後、さらに上級海技士の資格を取得するため、島根県所有の大型水産練習船で国内外への航海訓練を重ね、航海士、機関士を目指します。

【望水寮】

本校へは、水産・海洋教育を求めて日本各地から入学してきます。寮費は、土日を含め 3食+光熱費込で月額 41,000円です。



浜田公設市場競り見学!

高 島根県立 益田高等学校

所在地：〒698-0017 益田市七尾町1-17
電話番号：(0856) 22-0044
FAX 番号：(0856) 22-1442
Eメール：masudakoko@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：http://www.masuda.ed.jp



設置学科 学級数 各40人定員
 ◆普通科 3学級 ◆理数科 1学級

全校生徒数 378名 (R5.5.1現在)

育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

- ①行動力を持ち、自己実現に向けて自立した生徒
- ②確かな学力を持ち、探究心、想像力が豊かで、学んだことを表現できる生徒
- ③豊かな人間性を持ち、社会をたくましく生き抜く力を持つ生徒

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

- ①～④は普通科・理数科共通、⑤は理数科のみ
- ①社会や集団の中で自分自身と他者を大切にし、自立した生活ができる生徒
- ②将来の在り方・生き方について考え、目標に向かって努力を継続できる生徒
- ③主体的かつ協働的な姿勢で学習に向かい、学力を伸ばそうとする生徒
- ④知的探究心を持ち、物事をよく観察して深く考えようとする生徒
- ⑤理科、数学及び英語に強い興味・関心を持ち、意欲的に学習する生徒

学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

- ◆単位制を活用し、多様な科目設定や習熟度に応じた授業展開など、個別最適な学びの環境を整えます。
- ◆「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業を展開し、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」をバランスよく育てます。
- ◆普通科、理数科のすべての生徒を対象としたSSH事業への取組を通して掘り起こした興味・関心・疑問を研究課題に進化させ、科学リテラシーと創造性の素地を育てます。
- ◆身につけさせたい資質・能力やねらいを明確にした特別活動や部活動を行います。

学校の特徴

【歴史と特色】

島根県立益田高等学校は明治45年の創設以来、石西の中心校として長く石見の若者たちの学びの場として歴史を刻んできました。昭和45年に理数科を設置し、現在普通科3学級、理数科1学級です。平成16年度から文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール (SSH) 事業に取り組んでおり、将来の地域・社会を担う科学技術人材の育成を目指し、文系を含めた全ての生徒を対象として事業を展開しています。令和3年度には創立110年を迎え、制服も大きく変わりました。創立以来の卒業生総数は19,390名です。

【進路】

卒業生の進路は多岐にわたりますが、約8割の生徒が4年制大学に進学しています。国公立大学の現役のべ合格率は約5割で、SSH指定校の効果もあり、国公立大学理系の合格率が高いのが特徴です。将来のこの地域の医療や教育を支える医・看護系統、及び教員養成系統の志望が多いという伝統があり、多くの卒業生が医療や教育現場で活躍しています。

【学習】

単に知識を覚えるという授業ではなく、ICT機器を活用し、ペア学習やグループ学習も織り交ぜた「わかる授業」そして「力がつく授業」に益高生は真剣に取り組んでいます。授業は1時限が45分、1日7時限(火曜日は8時限)あります。家庭での予習・復習も大切にしながら、在学中に獲得した確かな学力は、未来の自分を創る土台になります。令和3年度から単位制に移行しました。習熟度別授業を増やし、希望進路に応じた科目を選択できます。また、理数科の課題研究や普通科の課題探究等の探究的な学習も充実したものになっています。

【部活動】

益田高校では部活動(体育系12部、文化系12部)や学校行事、生徒会活動もとても盛んです。部活動は約9割の生徒が入部しており、教室以外の様々な場面でもたくさんの仲間と出会い、お互いを高めていくのが益高生活の大きな魅力です。



理数科関東研修



島根県立 益田翔陽高等学校

所在地：〒698-0041 益田市高津三丁目21番1号
電話番号：(0856) 22-0642
FAX番号：(0856) 31-1043
Eメール：masudashoyokoko@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：https://masudashoyo.jp/



設置学科 学級数 各40人定員

- ◆電子機械科 1クラス ◆電気科 1クラス
- ◆生物環境工学科 1クラス ◆総合学科 1クラス

全校生徒数 365名 (R5.5.1現在)

育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

- 自己管理能力・・・挨拶や時間厳守等、社会で通用するマナーを身につけた生徒
- 対人能力・・・自己理解を進め、他者への思いやりをさりげなくできる生徒
- 自己実現力・・・基礎学力の定着や専門的な知識や技能の向上を図り、進路実現にチャレンジする生徒
- 社会貢献力・・・社会との多様な関わりを通して、自分の特性を生かした社会貢献ができる生徒

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

- ▼志望する学科の特色を理解し、目標をもって主体的にねばり強く自分の可能性を追求できる生徒
- ▼部活動・生徒会活動などを通じて、幅広く自分の可能性を見出そうとする意欲のある生徒
- ▼基本的な生活習慣が身につつき、着実な基礎学力を有する生徒

学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

- 基礎学力の定着とキャリア教育
 - ・「翔陽スタンダード：授業の流れ方」から基礎学力の確実な習得
 - ・農業クラブ、家庭クラブ、翔陽していと部活動の両立を実践し、計画性のある自立した生活
- 県内唯一の複合型専門高校として、各学科の特色を活かした実習を通じた職業人の育成
 - ・積極的な資格取得へ挑戦
 - ・魅力ある選択科目と各学科間の課題実施
- 地域を意識した活動を通じて、働くことの意義や喜びを実感し、郷土や社会を支える協働力養成
 - ・益田市全体でライフキャリア教育の推進
 - ・課題探究プロジェクト等で地域住民・民間企業等との連携、幼保・小・中・高校及び公民館等と繋がる地域活動の展開

学校の特徴

【校訓】 創造 敬愛 誠実

【歴史】 益田工業高校と益田産業高校の歴史と伝統を継承し、平成18年に開校した県内初の複合型専門高校

【教育目標】 ①旺盛な研究心を持つ
②互いの心を尊重しよう
③郷土を愛する心を持つ

【資格取得】

- ◆電子機械科
 - ・機械保全技能検定 2・3級
 - ・技能検定旋盤 2・3級
 - ・ボイラー取扱技能講習・ガス溶接技能講習
- ◆電気科
 - ・第一種電気工事士 ・第二種電気工事士
 - ・第三種電気主任技術者
 - ・2級電気工事施工管理技士
 - ・工事担任者
(第2級アナログ通信、第2級デジタル通信)
- ◆生物環境工学科
 - ・農業技術検定 ・初級バイオ技術検定
 - ・測量士補 ・2級土木施工管理技士
 - ・小型車両系建設機械
 - ・フラワー装飾技能検定
- ◆総合学科
 - ・介護職員初任者研修
 - ・文書処理能力検定・食生活アドバイザー
 - ・全国高等学校家庭科技術検定

【進路状況】

卒業生の約45%が国公立大学から専門学校まで幅広く進学しています。約55%は専門知識や資格を生かして就職し、内定率100%を維持しています。



「電力測定」授業風景



島根県立 吉賀高等学校

所在地：〒699-5522 鹿足郡吉賀町七日市937
電話番号：(0856)78-0029
FAX番号：(0856)78-0742
Eメール：yoshikakoko@pref.shimane.lg.jp
HPアドレス：http://www.yoshika.ed.jp.



設置学科 学級数

40人定員

◆普通科 1学級



全校生徒数 98名 (R5.5.1現在)



育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

- (1) 自他を尊重し、他者と協働できる人間の育成
- (2) 当事者意識を持ち、粘り強く挑戦する人間の育成
- (3) 答のない課題を解決するために行動する人間の育成
- (4) 広い視野に立ち、未来を想像・創造できる人間の育成



求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

- (1) 地域の様々な人と交流し、力を合わせることができる
- (2) 地域の環境資源を活かした学びを基に自分と向き合う
- (3) 地域の現状を知り、ふるさととの未来に向けて行動できる
- (4) 地域の中で学ぶことにより、広い視野を身につける



学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

- (1) 生徒の意思や判断を尊重し、対話を通してビジョンを実現する教育活動
- (2) 個別最適な学びを保障する少人数指導とキャリア教育
- (3) 多様な人々と協働し、未来を創るアントレプレナーシップ教育
- (4) 持続可能な地域づくりを目指す環境教育と地域クラブ活動



学校の特徴

昭和 23 年創立の本校は「清流日本一」に選ばれた高津川の源流の町にあり、豊かな自然環境の中で、地域の教育力を生かしながら教育活動を進めています。平成 13 年度から吉賀町内の 3 つの中学校と中高一貫教育（連携型）を導入し、6 年間を通したふるさと教育、キャリア教育で、ふるさとを愛し、たくましく生きる生徒を育てています。また、現在は町外・県外生徒の募集も積極的に行っていて、町内外の生徒が協働し、お互いに刺激し合いながら充実した学校生活を送っています。

本校は、小規模校の利点を生かしつつ、「小さな学校で大きな夢を！」を合言葉に、生徒一人ひとりの夢の実現を目指しています。

【校訓】 至誠・創造・努力

【教育課程】

2 年次から、進路希望に応じたコース制を導入しています。大学等への進学を意識した「総合探究コース」は、さらに文系・理系の選択もでき、少人数指導で志望校合格を目指します。「地域創造コース」は、商業科の専門科目をベースに、フードデザインの選択もでき、社会に出るためのより実践的な学習ができます。

【進路状況】

過年度実績では、国公立大学、私立大学、短期大学、看護・医療系専門学校、各種専門学校、民間就職、公務員のどの領域にも合格者がありました。生徒の多様な進路希望も、個別の指導により支援しています。

【部活動】

体育系 4 部、文化系 6 部があります。また、全校生徒が部員である「地域クラブ」というユニークなクラブがあり、地域の諸行事にボランティアとして協力し、地域の活性化にも貢献しています。百人一首かるたやテニスなどの活動も行っています。

【キャリア教育】

「吉賀高校サクラマスプロジェクト」

起業家精神に学ぶ「アントレプレナーシップ教育」では、地域の方と協働し、地域の課題について探究し、その解決策を考え実践に移していきます。その他にも「東京研修」や大学との協働研究などを通じて、生徒は社会の中で役割を果たしながら、自分らしい生き方を実践する力をつけていきます。

【その他】

- ◆学習支援クラウドサービス「スタディサプリ」導入
各自のスマホ・タブレット等を使って学習環境を広げ、家庭学習の効率化を図ります。
- ◆公設塾「よしか塾 NEXT」
吉賀町の支援による公設塾と学校が連携して、生徒の進路実現を支援します。
- ◆「サクラマス交流センター」「よしかみらい交流センター」
吉賀高校に通う町外・県外生のための寄宿舎が、吉賀町により運営されています。



吉賀高校全生徒・教職員



島根県立 津和野高等学校

所在地：〒699-5605 鹿足郡津和野町後田ハ12-3

電話番号：(0856)72-0106

FAX番号：(0856)72-0329

Eメール：tsuwanokoko@pref.shimane.lg.jp

HPアドレス：https://tsuwano.ed.jp/



設置学科 学級数

各40人定員

◆普通科 2学級



全校生徒数 195名 (R5.5.1現在)



育てたい生徒像(グラデュエーション・ポリシー)

- ◆知的好奇心に富み、生涯学ぼうとする姿勢を身につけた人
- ◆豊かな感性と想像力を持ち、異なる意見を尊重して、他者との関係を築く人
- ◆広い視野で俯瞰し、批判的思考と問題意識を持った当事者として行動する人
- ◆世界の動向に関心を持ち、志を遂げようとする気概を抱き続ける人



求める生徒像(アドミッション・ポリシー)

- ◆学びを大切にし、学びに本気で向かう姿勢を持つ生徒
- ◆自律心を持ち、自他を大切にできる生徒
- ◆社会との関わりに興味関心を持っている生徒
- ◆向上心を持ち、成長しようとする生徒



学びの特色(カリキュラム・ポリシー)

【学校目標】 世界で活躍する人を津和野町で育てる。
～あの山の向こうの世界に伍する者であれ～

【本校での学び】

1. 「総合的な探究の時間」を使い、身近なことや地域についての「問い」を見つけて、探究マインドを養う。
2. 津和野の「まち・ひと・こと」という学びの土壌で財団法人つわの学びみらいと協働して生徒を育てる。

〈「やってみたい」を「やってみる」3コース〉

- ◆総合コース
基礎から幅広く学び、実習を通して教養を身につける。
- ◆探究コース
「総合的な探究の時間」を手厚くし、大学との連携による学術的な探究学習を行う。
- ◆自然科学コース
理系進学に対応するため少人数できめ細かい指導をする。



学校の特徴

【学習活動】

普通科のみの2クラス定員の学校ですが、3クラス編制を基本とし、少人数によるきめ細やかな指導をおこなっています。1年次は全員共通のカリキュラムで、2年次以降、「総合」「探究」「自然科学」の3コースのいずれかを選択し、独自の進路別カリキュラムのもと、目標にあった科目を選択し、多様な進路の実現を目指します。個々の学力を伸ばすために、習熟度別授業や少人数指導を実施しているほか、進学補習や個別の添削指導にも力を入れています。

また、敷地内に町営英語塾『HAN-KOH』が設置されており、放課後から夜間まで、塾講師による英語指導を受けることができるほか、他教科の指導や自学自習の場の提供など様々な学習支援をおこなっています。津和野高校は、関わる人の厚みによって、生徒の夢の実現を手厚くサポートしています。

【多様な文化の入り交じる学校生活】

しまね留学(地域みらい留学)制度を利用し、全校生徒の40%以上の生徒が県外から津和野高校へ、充実した学びの場を求めて進学しています。様々な地域の出身者は、多様な考え方や文化を広めてくれています。日頃の学習だけでなく、多くの地域の文化に触れることができます。

【学校行事】

古くは城下町として栄え、明治維新の発祥の地として知られる山口県萩市から、山陰の小京都として知られる歴史と文化の町・津和野までを早朝から一日かけて歩きとおす『鍛錬行事』や、文化部合同公演『JAM』など、生徒が主体的に活躍する場面を大切にしています。本校の学校行事は、「生徒の目に見える成長」をテーマに実施しています。



【部活動】

体育系6部、文化系4部があり、少人数でも全員が主役となる部活動を展開しています。部員数の最も多い地域系部活動「グローバル・ラボ」は、地域社会に積極的に飛び出し、伝統行事への参加、地元の方と農作物の栽培や商品の開発など、津和野の生活に溶け込む活動をしています。また、「硬式野球」、「バレーボール(女子)」は、本校のシンボルスポーツとして指定され、強化だけでなく地域の活性化の一端を担っています。



島根県立 隠岐高等学校

所在地：〒685-0006 隠岐郡隠岐の島町有木尼寺原1

電話番号：(08512) 2-1181

FAX番号：(08512) 2-6195

Eメール：oki-hs@edu.pref.shimane.jp

HPアドレス：https://www.oki-hs.ed.jp/



設置学科 学級数

各30人定員

- ◆普通科 2学級
- ◆商業科 1学級



全校生徒数 200名 (R5.5.1現在)



育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

郷土を愛し、地域や社会の未来を切り拓く人材<次世代型探究人>を育てます。

- ・高度で幅広い知識や技術と教養を身につけた生徒 (知識・技能)
- ・自分の意見を明確にして表現することができる生徒 (思考力・判断力・表現力)
- ・隠岐地域を出発点として日本や世界の将来のために行動する生徒 (学びに向かう力)
- ・優れた人権感覚と豊かな人間性を備えた生徒 (人間性)



求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

隠岐高校の特性を理解し、高い志を持ち、入学を強く希望する人を求めています。

- ・学びの意義を見だし、日常の学習に前向きに取り組むことができる人
- ・部活動やボランティア活動など、様々な活動にチャレンジしようとする人
- ・隠岐の島の環境や地域社会に関心を持ち、未来について考えることができる人
- ・自分を大切に、他人を思いやり、良好な人間関係を築くことができる人



学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

地域と協働して、主体的、探究的な学びをすべての学習活動で実践します。

何を学ぶか

- ・これからの時代に必要な資質・能力を踏まえた教科の専門的な学習を行います。
- ・ビジネスの基礎を学び、専門性を追求し、商業系資格取得を目指します。(商業科)
- ・隠岐ユネスコ世界ジオパークから、地域の魅力と課題解決について学びます。
- ・特別活動や部活動に積極的に参加し、集団活動と個人の役割について学びます。

どのように学ぶか

- ・多様な進路希望に応じた教育課程で、選択科目の幅を広げて授業を行います。
- ・ICTを積極的に活用し、わかる授業の実践と生徒の表現活動の機会を広げます。

- ・隠岐の島町や企業、大学の支援を受けて、地域課題解決型の学習に取り組みます。
- ・SDGsの理念を踏まえて、教育活動に取り組みます。

【各科の特色】

◆普通科

上級学校への進学を目指した取組をしています。ほとんどの生徒が大学入学共通テストを受験します。英語と数学においては少人数による授業も導入しています。2年次からは文系と理系とに分かれますが、3年次にはさらに多様な進路希望に応じた少人数での授業展開を行っています。

◆商業科

ビジネスに必要な基本的なマナーとスキルを身に付けることを目標としています。簿記、情報処理等の高度な資格を取得してそれを生かした進学も可能です。平成11年度からは、個人もしくは団体で毎年全国簿記コンクールに出場しています。

【部活動】

体育系は令和4年中国大会に出場した卓球部、平成15年春の甲子園に出場した野球部を始め7つの部、文化系は平成26年度県吹奏楽コンクール小編成の部で、中国大会に出場した吹奏楽部を始め6つの部があります。

また、「放課後チャレンジャー」として、地域や世界ジオパークと協働した特色ある部活動も展開しています。全校生徒の約84%が部活動に加入しています。

【学校行事】

地域と連携したさまざまな取組をしています。生徒による近隣の小学校の学習サポート「放課後先生」や家庭科での「保育実習」などです。また、地域課題解決型学習である「隠岐ジオパーク研究」に隠岐ジオパーク推進機構と連携して取り組んでおり、2年次には「隠岐ジオパーク研究」で学習した内容を地域の方々に発表しています。さらに大学や企業に出向き、自身のキャリア形成のきっかけとする場として、「関西研修旅行」を行っています。その他、生徒会活動も積極的に展開しています。ふれあいコンサート、学園祭、球技大会、3年生を送る会等は卒業後も思い出に残る行事です。

【寄宿舎 (清明寮)】

自宅から通学が困難な生徒のための寄宿舎を設置しています。定員は男女合わせて24名、令和5年度は16名が入舎しています。総合病院、ショッピングセンターも近くにあり、学校まで徒歩10分です。





島根県立 隠岐島前高等学校

所在地：〒684-0404 隠岐郡海士町大字福井1403

電話番号：(08514)2-0731

FAX番号：(08514)2-0035

Eメール：okidozen-hs@edu.pref.shimane.jp

HPアドレス：https://www.dozen.ed.jp



設置学科 学級数

各40人定員

◆普通科 1学級 ◆地域共創科 1学級

※1年次は共通のカリキュラムで学習し、2年次に普通科と地域共創科から学科を選択します。



全校生徒数 164名 (R5.5.1現在)



育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

- ①真理の探究に向け、協働的に粘り強く挑戦する
- ②理想を追求し、自己を高め、地域社会に貢献する
- ③進取の気象をもち、主体的、意欲的に行動する
- ④心身ともに健康、情操豊かで、他人を思いやる



求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

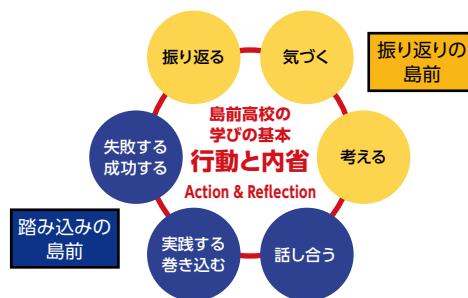
- ①真理の探究に向け、協働的に粘り強く挑戦しようとする生徒
→主体的に学習・課外活動に取り組む態度を有している
多様な他者を価値ある存在として尊重することができる
- ②理想を追求し、自己を高め、地域社会に貢献しようとする生徒
→前向きな姿勢で未来に夢や希望を持っている
地域に根付く文化や伝統に関心を持ち、尊重することができる
- ③進取の気象をもち、主体的、意欲的に行動しようとする生徒
→周囲を思いやりながら自主的に考え、自律的に判断し、誠実に実行することができる
自らの人生や新しい社会を切り拓こうとする希望や意志を持っている
- ④心身ともに健康、情操豊かで、他人を思いやろうとする生徒
→自他の心身の健康に興味関心を持ち、他人を思いやること
ができる
感性を豊かに働かせながら、思いや考えを基に表現することができる



学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

- ・生徒一人一人の習熟度に応じた指導内容や授業展開
- ・到達目標 (資質・能力等) を明示し、全ての生徒が基礎・基本の力を身に付ける
- ・探究と教科が往還することによって相乗効果で資質・能力を育む
- ・隠岐島前地域ならではの魅力や課題を教育資源として積極的に活用する
- ・実社会や実生活における複雑な事象を対象に、**「気づく」→「考える」→「話し合う」→「実践する (巻き込む)」→「振り返る」→「気づく」→**…の探究サイクルを身に付ける
- ・身に付けた資質・能力を自らがつなげて思考し、グローバルな場面で実践や行動に移す

学校経営スローガン 「失敗を共に称え合う学校」



学校経営スローガン「失敗を共に称え合う学校」を実現するためには、行動と内省のサイクルを回す必要がある。

「話し合う」→「実践する / 巻き込む」→「失敗する / 成功する」→「振り返る」→「気づく」→「考える」→「話し合う」→という行動 (踏み込み) と内省 (振り返り) のサイクルを回すことで必要な資質能力を身につける。



学校の特徴

【学校行事】

本校では地域の実社会や海外へ飛び出す学習機会を通じて「地球規模の視野」と「足元から実践できる力」を持ったグローバル人材を育成しています。1年生の地域共創実践活動 (インターン学習)、2年生の海外研修旅行、JICA (国際協力機構) との協働プログラムである「グローバル探究」があるほか、授業でも「夢探究」「地域地球学」「地域未来共創」などがあります。





島根県立 隠岐水産高等学校

所在地：〒685-0005 隠岐郡隠岐の島町東郷吉津2

電話番号：(08512)2-1526

FAX番号：(08512)2-6079

Eメール：okisuisan-hs@edu.pref.shimane.jp

HPアドレス：https://www.oki-sui.ed.jp/



設置学科 学級数

各40人定員

- ◆海洋システム科 1学級
- ◆海洋生産科 1学級



全校生徒数 149名 (R5.5.1現在)



育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

- (1) 水産・海洋教育をととして、豊かな人間性と人格の形成を図り、地域社会に貢献する人材を育成する。
- (2) 水産・海洋関連産業に関する、専門的知識と技能を身につけた人材を育成する。
- (3) 心身ともにたくましく鍛える教育活動を実践し、勤労意欲・責任感・正義感の旺盛な人材を育成する。



求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

- (1) 明確な目標を持って努力する生徒
- (2) 協調性があり、他人を思いやる心優しい生徒
- (3) 規則を尊重し、我慢強く責任感のある生徒



学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

1907年創立の本校は、全国で46校ある水産・海洋系高校の中でも最も伝統のある学校の一つです。卒業生は、水産業・海運業はもとより陸上産業部門でも広く活躍しています。校舎は海に面した西郷湾奥に位置し、海を舞台に様々な体験学習を行い、海のスペシャリストとして必要な高度な技術と知識を身に付け、社会に貢献する技術者を養成します。様々な実習や学校行事など活気ある学校生活を通して、生徒たちは逞しく成長していきます。

2年生からは興味・関心に応じて、海洋システム科は「海洋テクノコース」と「エンジニアコース」に、海洋生産科は「食品生産コース」と「資源生産コース」に分かれて学習します。



学校の特徴

【資格取得状況と特色ある学校行事】

(1) 資格取得

3年間で以下のような資格が取得可能です。

- ◆4級海技士 (航海・機関)
- ◆乙種危険物取扱者
- ◆一級海上特殊無線技士
- ◆第三種冷凍機械責任者
- ◆全商ビジネス文書実務検定
- ◆スクーバーダイビングCカード
- ◆小型船舶操縦士
- ◆二級ボイラー技士
- ◆第二種電気工事士
- ◆栽培漁業技術検定
- ◆潜水士

また、専攻科では大型船の船長・機関長になるための資格を取得することができます。これらの資格・免許の合格率は水産・海洋系高等学校の中で、全国トップクラスです。

(2) 学校行事

本校の特色ある学校行事としては、1年生全員を対象としたカッター漕艇訓練 (海洋訓練) があります。夏の暑さにも負けず、3日間カッター漕艇を主とした厳しい訓練が行われます。この海洋訓練をととして、規律・気力・体力・協調性を養い、海で生きていくことができる強くたくましい人材を育成します。その他、全隠岐カッターレース大会や寒稽古、マラソン大会、体育祭、水高祭などがあります。

【寄宿舎】

平成16年9月に完成した冷暖房完備の寄宿舎に加え、平成26年6月に第2寮が増築されました。さらに第3寮の増築が令和5年秋より始まります。第3寮完成までは民間の宿泊施設を利用し、寮全体で最大、男子82~86名、女子10~6名が入寮できます。第1寮、第2寮は学校の敷地内にあり、学校まで徒歩1分以内の距離です。寮費は3食付きで月額53,300円 (令和5年度実績) です。隠岐の島町に住民票を異動した場合は、町より月額8,000円 (令和5年度実績) の補助金が支給されます。



海洋訓練



松江市立 皆美が丘女子高等学校



所在地：〒690-0835 松江市西尾町540-1
電話番号：(0852) 39-0216
FAX 番号：(0852) 39-0829
Eメール：matsueshijo@city.matsue.ed.jp
HPアドレス：https://minamigaoka-girls-hs.matsue.ed.jp



設置学科 学級数 各30人定員

- ◆普通科 3学級
- ◆国際コミュニケーション科 1学級

全校生徒数 295名 (R5.5.1現在)

育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

- ① 未来の社会を生きる基礎力を備え、自らの未来に向け主体的に学ぶことができる生徒。
- ② ホスピタリティ精神に富み、自他ともに尊重し、品位ある言動で相手を慮ることができる生徒。
- ③ 確かなコミュニケーション力を備え、故郷への愛情とグローバルな視点をもって自国の文化を深く理解し、他国の文化を尊重し、社会をよりよくするために行動することができる生徒。

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

- ・ 学ぶことに真摯であろうとする生徒
- ・ 様々な活動に意欲的に取り組み自分を高めようとする生徒
- ・ ルールを守り、自分も人も大切にすることができる生徒

学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

学びの特色 (カリキュラムポリシー)

「学びのその先へ」を実現するカリキュラム

普通科 国際コミュニケーション科

- | | |
|--|---|
| <p>2つのコース・4つのエリアから選べる学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ★総合進学コース
共通テストで国公立4年制大学進学を目指す授業の展開 ★キャリアデザインコース
高・専・大連携型の実践的な授業の展開 <p>福祉・医療 家政・栄養
保育・教育 観光・ビジネス</p> | <p>語学と異文化体験を通じたグローバルな学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ALTの複数配置による実質的な英語学習 ★中国語・韓国語の選択学習
(語学検定取得の奨励) ★異文化理解・国際交流を基盤とした国際感覚の育成 |
|--|---|

さまざまな出会いと体験を通じた探究型学習

- ・ 地域課題探究学習「まつえ学」
- ・ 松江の魅力を知る
- ・ キャリア探究学習「総合的な探究」
- ・ 学びを知る
- ・ 課題に気づく
- ・ 課題解決に挑戦する
- ・ 生き方を考える
- ・ 仕事を考える

ユネスコ
スクール

部活動

地元大学 専門学校 保護者 地域 行政 企業

学校の特徴

中・四国唯一の公立女子高等学校として、昭和29年4月に開校。平成7年4月国際文化科を設置。平成17年4月国際文化科を国際文化観光科に改編。平成27年にユネスコスクールに認定。令和3年4月校名を松江市立皆美が丘女子高等学校に変更し、国際文化観光科を国際コミュニケーション科に改編。

令和5年度、開校70周年を迎えた。

本校の特色

平成20年度より全国でもほとんど例を見ない1クラス30名学級を実現しました。各HR教室に電子黒板を設置。タブレットは全員に配布し、ICT機器を使った授業を展開しています。

部活動も盛んで、インターハイに出場回数の多いハンドボール部や全国大会出場経験のある吹奏楽部を始め、体育系6、文化系8の部が活躍しています。

また、英語教育には特に力を入れており、2名のALT配置は県内に誇り得るものです。

令和3年度入学生からは「学びのその先へ」をキーワードに、上級学校での学びを先取りする授業を行っています。また、学んだことが将来の自分自身のキャリアにつながる授業も選択できるようにしています。

学校設定科目の「まつえ学」を全員が学び、松江市をフィールドとして、地域課題に迫る学習をとおして、「気づき・考え・行動する」力の育成を目指しています。

【教育課程】

普通科は1年次には全員が共通の科目を学びます。2年次からは進路希望に応じて「総合進学コース」「キャリアデザインコース」のどちらかを選択します。「キャリアデザインコース」では更に将来のキャリアにつながる4つの「エリア」(福祉・医療、保育・教育、家政・栄養、観光・ビジネス)からひとつを選択し、上級学校での学びを先取りした学びを展開します。

国際コミュニケーション科は専門学科として外国語(特に英語)を多く学習し、大学などへの進学を目指します。韓国語・中国語(いずれかを選択)の授業も行います。

【学校行事】

1年生フレッシュスタート研修、遠足、球技大会(年2回)、学園祭(皆美が丘祭)、海外研修旅行(国際コミュニケーション科)、国内修学旅行(普通科)。

1年生フレッシュスタートでは入学当初に調理実習(ガールズランチ)や学年体育を実施し、親睦をはかります。



松江市総合体育館で行われる体育祭